

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

基本目標 I

男女共同参画社会への意識づくり

～人が変わる～

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会への意識づくり～人が変わる～

主要課題 1. 男女平等意識の推進

1. 男女共同参画社会形成のための情報提供、啓発活動の推進

事業番号	事業名	概要	担当課
1	男女共同参画推進の拠点としての情報提供や啓発活動の実施	男女共同参画推進のための拠点として、情報の提供や啓発活動を行う。	地域推進課
2	講演会・フォーラムの実施	市民の男女共同参画に対する関心を高めるために開催し、積極的な啓発を図る。	地域推進課
3	男女共同参画に関する理念や法制度の理解促進	社会制度や昔からの慣習を変えていくため、男女共同参画に関する理念や法制度の理解促進を図る。	地域推進課
4	男女共同参画都市宣言の周知	懸垂幕の設置を通して、本市が「男女共同参画宣言都市」であることを周知し、男女共同参画への理解を促進する。	地域推進課
5	男女共同参画に関する情報の提供	男女共同参画に関するあらゆる情報を、広報紙やホームページへの掲載、リーフレットの配布など、多様な媒体を活用して発信する。	地域推進課
6	市男女共同参画推進委員及び県男女共同参画推進員との連携による広報・啓発活動の実施	市男女共同参画推進委員及び県男女共同参画推進員と連携を図り、広報・啓発活動を行う。	地域推進課

2. 男女共同参画推進のための情報収集と提供

事業番号	事業名	概要	担当課
7	社会制度や慣行に関する調査・研究	男女共同参画の視点で社会制度や慣行について、市民を対象とした調査を行う。	地域推進課

主要課題 2. 男女共同参画を推進する教育・学習

1. 教育指導における男女平等の推進

事業番号	事業名	概要	担当課
8	教育活動全体を通じた人権教育の実施	各教科の指導、学級活動、その他の教育活動全体を通して、人権を尊重する意識や態度を育てる。	教育指導課
9	道徳教育を通じた男女平等教育の実施	道徳や総合的な学習の時間において男女平等の意識づくりを図る。	教育指導課
10	教職員への平等教育の徹底	男女平等の視点から、家庭教育と連携して生活指導の充実を図る。	教育指導課

2. 家庭教育における教育支援

事業番号	事業名	概要	担当課
11	家庭科教育の充実	家庭科教育を通して、家族や子育てについての指導充実を図る。	教育指導課
12	子育て・仲間づくりセミナーの実施	子どもを持つ親のための学習会を開催し、学ぶことを通して親同士の仲間意識を高め、交流を深める。	生涯学習課
13	家庭教育学級の開催	子育て支援や家庭教育に関する学習会を通し、学級生相互の交流を図るとともに家庭の教育力の向上を図る。	生涯学習課

3. 社会教育における男女共同参画の推進

事業番号	事業名	概要	担当課
14	料理教室の実施	簡単な料理法を習得できる講座を実施する。	地域推進課
15	各種講座の実施	各種講座等に男女共同参画の視点を導入し、男女がともに学び、協力し合う機会を提供する。	生涯学習課

主要課題3. あらゆる暴力の根絶

1. DV防止と被害者への支援

事業番号	事業名	概要	担当課
16	DV防止に関する啓発活動の実施	DVが人権侵害であることを踏まえ、防止に向けて啓発活動を行う。	地域推進課 こども課
17	相談体制の整備	関係機関と連携のもと相談体制を充実する。	地域推進課 こども課
18	相談員のスキルアップ	専門的な知識を養い、あらゆるケースに対応できるよう、外部の研修等への参加により、相談業務に携わる相談員のスキルアップを図る。	こども課
19	被害者の住民票及び戸籍の附票の交付制限	警察等で被害者に対して支援が必要と認められた場合に限り、加害者への住民票及び戸籍の附票の交付を制限する。	市民窓口課

2. あらゆるハラスメントの防止

事業番号	事業名	概要	担当課
20	各種ハラスメント防止対策の推進	市民や事業所への啓発活動を通じて、あらゆるハラスメントが人権侵害であるという意識付けを行い、各種ハラスメントを防止する。	地域推進課
21	ハラスメント相談体制の整備	迅速な対応、解決に向けて、相談窓口の周知を行う。	地域推進課

3. メディアにおける人権の尊重

事業番号	事業名	概要	担当課
22	人権を尊重した表現の推進に向けた啓発	男女共同参画の視点に立った情報の発信について、広報紙・ホームページ等で啓発を行う。事業所等が発行する広報物に対して人権への配慮がなされるよう働きかける。	地域推進課
23	人権を尊重した表現の推進	男女共同参画の視点に立った広報紙・出版物に関するガイドラインを活用し、男女の人権を尊重した適切な表現を行うよう配慮する。	地域推進課 秘書広報課
24	情報活用能力の育成と情報モラル教育の実施	インターネットをはじめとする様々なメディアが社会や生活に及ぼす影響を理解し、情報化の進展に対応できる能力育成に努める。	産業経済課 教育指導課

効果凡例一覧

- a 男女の人権を尊重する意識を育むことができる
- b 自分の生き方を自分で決めることができる
- c 性別による役割分担意識の解消ができる
- d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
- e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
- f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる
- g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
- h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
- i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで, 健やかで安心した生活を送ることができる

事業名	1 男女共同参画推進の拠点としての情報提供や啓発活動の実施	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・国・県・関係機関が作成した啓発資料を設置した。広報つくばみらい11月号と3月号において, 男女共同参画に関する当市の取組等の記事を掲載した。市ホームページやツイッターを活用して, イベントや男女共同参画標語の募集を行った。</p> <p>・以下の機会に, 啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政協力員会議 啓発ティッシュ 21個配布 ②家庭教育学級事業説明会 第2次男女共同参画計画概要版 66枚 ③行政協力員研修会 啓発ティッシュ 25個配布 ④みらいフェスタ 啓発ティッシュ 400個配布 ⑤あさのいち 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画標語応募用紙, 啓発ティッシュ 100個配布 ⑥カスミみらい平駅前店 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画標語応募用紙, 啓発ティッシュ 100個配布 ⑦令和2年成人式 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画推進条例概要版, クリアファイル 350組配布予定 	<p>計画どおりに達成できた ほぼ計画通りに達成できた 計画にほぼ及ばない 計画にまったく及ばない なかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことができる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
現状と課題	<p>若い世代や子育て世代に対する啓発機会が少ないことを踏まえ, 家庭教育学級説明会やみらいフェスタ, あさのいちなどのイベントで啓発活動を実施した。</p>	今後の方向
今後の取り組み	<p>啓発機会を増やすため, 新規啓発場所を発掘し, 多くの市民に対して啓発を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題1 男女平等意識の推進

1. 男女共同参画社会形成のための情報提供、啓発活動の推進

事業名	1 男女共同参画推進の拠点としての情報提供や啓発活動の実施	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・国・県・関係機関が作成した啓発資料を設置した。広報つばみらい11月号と3月号において、男女共同参画に関する当市の取組等の記事を掲載した。市ホームページやツイッターを活用して、イベントや男女共同参画標語の募集を行った。</p> <p>・以下の機会に、啓発活動を実施した。</p> <p>①行政協力員会議 啓発ティッシュ 21個配布 ②家庭教育学級事業説明会 第2次男女共同参画計画概要版 66枚 ③行政協力員研修会 啓発ティッシュ 25個配布 ④みらいフェスタ 啓発ティッシュ 400個配布 ⑤あさのいち 第2次男女共同参画計画概要版、男女共同参画標語応募用紙、啓発ティッシュ 100個配布 ⑥カスミみらい平駅前店 第2次男女共同参画計画概要版、男女共同参画標語応募用紙、啓発ティッシュ 100個配布 ⑦令和2年成人式 第2次男女共同参画計画概要版、男女共同参画推進条例概要版、クリアファイル 350組配布予定</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
現状と課題	<p>若い世代や子育て世代に対する啓発機会が少ないことを踏まえ、家庭教育学級説明会やみらいフェスタ、あさのいちなどのイベントで啓発活動を実施した。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>啓発機会を増やすため、新規啓発場所を発掘し、多くの市民に対して啓発を行う。</p>		<p>① 充実させる ② 継続 ③ 見直し ④ 廃止 ⑤ その他()</p>
事業名	2 講演会・フォーラムの実施	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・中学生に対する職員による出前講座 テーマ「みんなが自分らしく生きるために」の実施。 男女共同参画社会実現のためには、一人でも多くの方が男女共同参画の必要性を正しく理解し、意識を持って行動することが重要であることから、柔軟な考え方の中学1年生を対象に出前講座を実施した。講師は、市職員が務め、普段の生活のなかの出来事や、職業選択のこと、自分らしさのことなど、身近な事例を取り上げ、中学生に男女共同参画とはどういったものかを説明した。また、今年からアンケートの性別欄を記入形式にしたことで、LGBT等に配慮した。</p> <p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施。 父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象にして、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋の料理教室を実施し、11組の親子が参加した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
現状と課題	<p>「どすこい！クッキング！」の募集にあたり、小学校に配布しなかった結果、応募が減ってしまった。「どすこい！クッキング！」は父親の家事参加を目的としているため、母親が参加できない。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>「どすこい！クッキング！」について、チラシの配布や周知方法を改善し、イベントを十分に周知して継続した取組を行う。 「どすこい！クッキング！」のように父親だけでなく、母親も参加できるような事業を検討する。</p>		<p>1. 充実させる ② 継続 ③ 見直し ④ 廃止 ⑤ その他()</p>

事業名	3 男女共同参画に関する理念や法制度の理解促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・男女共同参画社会の実現のためには、一人でも多くの人が男女共同参画の必要性を正しく理解し、意識を持って行動することが大切であることから、市男女共同参画推進月間である11月に、市内中学校に通う1年生を対象に出前講座を実施した。講師は市職員が務め、普段の生活の中から男女共同参画にまつわる身近な事例を取り上げながら、中学生に男女共同参画とはどういったものかを説明した。</p> <p>出前講座受講実績 市内中学校(4校) 参加人数362人</p> <p>・男女共同参画に対する理解を深めてもらえるよう、市男女共同参画推進月間である11月に、図書館において男女共同参画に関する特集コーナーを設置した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる
現状と課題	出前講座で使用している資料が古いので、検討が必要になっている。		今後の方向
今後の取り組み	内容をリニューアルしながら、中学生出前講座を継続して行っていくことで、当市の男女共同参画社会の早期実現を目指す。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	4 男女共同参画都市宣言の周知	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・市民を対象として行った啓発活動にて、都市宣言が掲載された第2次男女共同参画計画概要版や、ポケットティッシュを配布し、周知した。</p> <p>・市男女共同参画推進月間である11月に庁舎において懸垂幕を掲げて、周知を行った。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる
現状と課題	啓発物等に男女共同参画都市宣言を掲載し、周知を行っているが、都市宣言の内容についてより一層周知が必要となっている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、啓発物を配布する機会には、男女共同参画都市宣言を積極的に掲載していく。啓発活動の際にのぼり旗を設置して周知を行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	5 男女共同参画に関する情報の提供	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・伊奈庁舎、谷和原庁舎、図書館、公民館等の公共施設だけでなくスーパーや金融機関にも、国・県関係機関が作成した啓発資料やイベントチラシを設置した。また、市ホームページおよびツイッターに掲載し、周知を行った。</p> <p>・広報つくばみらい11月号、3月号に、男女共同参画に関する当市の取り組み等の記事を掲載し、市民の関心を得られるよう努めた。</p> <p>・市ホームページや広報つくばみらい、ツイッターを活用して、男女共同参画標語や女性人材登録、有資格者社会復帰支援セミナー等に関する情報を発信した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる</p>
現状と課題	<p>広報つくばみらいや市ホームページ、SNS等様々な方法で、男女共同参画に関する情報の発信を行っている。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>今後も、より多くの市民に男女共同参画を知ってもらえるよう、様々な媒体で情報の発信を行っていく。 確定申告会場など市民が多く集まる場所にチラシを置くことで情報を提供する。</p>		<p>1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	6 市男女共同参画推進委員及び県男女共同参画推進員との連携による広報・啓発活動の実施	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・カスミみらい平駅前店にて、市男女共同参画推進委員にも協力いただき、第2次男女共同参画計画概要版、男女共同参画標語応募用紙、啓発ティッシュ100個を配布し、啓発活動を実施した。</p> <p>・市内中学校で行った出前講座に同席していただき、講座内容について意見を伺った。</p> <p>・2月開催の県トップセミナーに男女共同参画推進委員に参加していただいた。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	<p>県男女共同参画推進員、市男女共同参画推進委員と連携しながら、広報・啓発活動を行っている。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>引き続き、県男女共同参画推進員、市男女共同参画推進委員と連携しながら、広報・啓発活動を実施していく。</p>		<p>1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 男女共同参画推進のための情報収集と提供

事業名	7 社会制度や慣行に関する調査・研究	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	・中学生出前講座の実施にあたり、中学生から、なりたい職業や男らしさ・女らしさについてのアンケートをとり、その結果を講座に活かした。また、実施後には、男女共同参画に対する意識が変わったかどうかアンケートをとった。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	毎年度中学生出前講座の実施にあたり、講座前と講座後でアンケートを行い、男女共同参画に対する意識の変化について調査している。		今後の方向
今後の取り組み	今後も引き続き、思考が柔軟な若い世代を対象として、中学生出前講座を実施し、その効果を図っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題2. 男女共同参画を推進する教育・学習

1. 学校教育における男女平等の推進

事業名	8 教育活動全体を通じた人権教育の実施	担当:教育指導課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重を基盤とした男女平等観の形成を図り、男女共同参画についての理解の深化と促進に努めた。 ・外国語(英語)の授業において、国際理解教育の推進を図るとともに国や人権による偏見をなくすこと、男女の平等についての意識を涵養している。 ・係活動や当番活動など男女分け隔てなくバランスよくグループを組むなどの配慮をしている。 ・男女混合名簿を作成した。 ・夏季休業中に、声楽家の河野陽介氏を講師として招聘し、「性的マイノリティーから考える教育・子育て」と題して、性的指向や性自認を理由とする差別や偏見を無くし、人権に対する正しい認識を深められる講演を依頼し、人権が尊重される社会について理解を深めた。(令和元年8月1日実施 教職員、保護者、児童生徒、市民256名参加) 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	教職員が参加者の大部分を占めているが、一般市民の参加についても今後どう進めていくか課題である。		今後の方向
今後の取り組み	これまでの取組を推進するとともに、LGBT等についての理解を促進して、平等教育を徹底していくことが重要である。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	9 道徳教育を通じた男女平等教育の実施	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・道徳の教科化(小学校平成30年度, 中学校令和元年度)による学習指導要領の内容項目が改善されたことを受け, 男女共同参画に関する内容も含め, 令和元年度中に道徳教育全体計画, 年間指導計画及び別業の見直しを行うよう各学校に指示すると共に, 研修会を実施し, 各中学校区ごとに研究協議を行った。</p> <p>・各学校では, 「特別の教科 道徳」の男女共同参画にかかわる内容項目(「自主」「自律」「自由と責任」「友情」「信頼」「集団生活の充実」等)を中心に, 自分自身の生き方を見つめると共に, 人や社会との関わりについて, 係活動や当番活動, 学校行事等, 学校の教育活動全体で継続して指導している。特に, 小学校5年生以上については, 異性についての理解や男女平等に関する内容について道徳の時間において指導している。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	
		効果	
		a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる	
現状と課題	考え議論する道徳, 自分事として捉える事のできる授業の在り方について今後, 研修を充実することが重要である。		今後の方向
今後の取り組み	道徳の授業の在り方について研修を深め, 児童生徒の興味関心を高め, 道徳的価値を自覚できるような授業展開を図っていきたい。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	10 教職員への平等教育の徹底	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・人権教育全体計画及び人権教育推進計画全体の見直しを行い, 各学校における人権教育の取り組み等に関する現状と課題を把握した。</p> <p>・児童生徒の発達段階に応じて学年別人権教育の目標を設定し, 教育活動全体を通して人権教育の推進を図った。</p> <p>・夏季休業中に, 声楽家の河野陽介氏を講師として招聘し, 「性的マイノリティーから考える教育・子育て」と題して, 性的指向や性自認を理由とする差別や偏見を無くし, 人権に対する正しい認識を深められる講演を依頼し, 人権が尊重される社会について理解を深めた。 (令和元年8月1日実施 教職員, 保護者, 児童生徒, 市民256名参加)</p>	1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	
		効果	
		c 性別による役割分担意識の解消ができる	
現状と課題	学校現場においては, 男女平等についての意識が浸透しているので今後とも男女平等教育を推進していくことが重要である。 また, 各種調査物の性別欄の必要性について検討が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	様々な人権課題があるので, 現状を十分に把握しながら, 引き続き社会のニーズに応えられるような人権教育の推進を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 家庭教育における教育支援

事業名	11 家庭科教育の充実	担当:教育指導課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・小学校では、家族の一員として、生活をより良くしようと工夫する実践的な態度の育成に努めた。また、性別にかかわらず日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための指導を行った。</p> <p>・中学校では、生活や社会における課題解決に主体的に取り組む問題解決的な学習の充実を図り、生徒の思考を促す発問の工夫に努めた。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と課題	身近な生活の課題を解決したり、家庭で実践したりするための指導の工夫と実践の記録を把握することが必要である。		今後の方向
今後の取り組み	新学習指導要領の全面实施(小学校令和2年度, 中学校令和3年度)に伴い, 児童生徒や学校, 地域の実態を考慮した年間指導計画を作成する必要がある。		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	12 子育て・仲間づくりセミナーの実施	担当:生涯学習課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・みらい親楽講座 開催日 (前期)令和元年5月24日(金)~令和元年7月11日(木) (後期)令和元年11月6日(水)~令和元年12月19日(木) 前期8回・後期7回実施 延べ参加者数 H30:148組, R1:202組 前年比:+54組</p> <p>・事業概要 満1歳6ヶ月以上の未就園の子とその保育者を対象に子育てを支援する。 戸外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供することによって, 保育者の育児に関する様々な悩みや情報を交換し, 子育てが楽しく感じられるように支援する。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	子育てに追われ地域社会との接点が少なく, 孤立しがちな状況を改善し, 同じ年代の子を持つ親同士が仲間となり, 子育てに関する情報を交換し, 悩みを解決する場として有効であった。		今後の方向
今後の取り組み	今後もさまざまな講座を企画し, より多くの親子に参加してもらい, 参加者が子育てに関する情報交換ができる場を提供していく。		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	13 家庭教育学級の開催	担当:生涯学習課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・市内19の幼稚園、小・中学校のうち、幼稚園4歳児・小学1年生・中学1年生の保護者1179名で構成している。</p> <p>・各園・学校単位で学級を組織し、各々独自の活動を展開する。活動内容は、親子触れ合い学習・クラス親睦会・講演会・人権教育・移動教室・文集の作成等、学級ごとに工夫を凝らした活動を実施した。また、2月に合同閉級式・講演会を実施した。</p> <p>・男女の性差なく活動に参加しやすい雰囲気を作るとともに、子供の教育には、家族が互いに尊重しあい、協働することの大切さを理解できる取り組みを推進した。 家庭教育学級事業説明会(令和元年5月8日) 人権講演会(令和元年8月1日) 合同閉級式(令和2年2月14日)</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	参加者の延べ人数は昨年度より増加したが、19学級の取り組み状況に学級間の差がある。		今後の方向
今後の取り組み	核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化により、家庭の教育力が低下していることから、子育てについて悩みを持つ親同士が交流し合い、発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供していくことで、家庭の教育力の向上を図る。 すべての子どもたちにとって少しでも良い教育環境となるよう、また、親と子の心の絆がよりしっかり結ばれるよう、子と共に親も育っていく家庭「共育」を目指す。 小学校統廃合後も継続して取り組む。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. 社会教育における男女共同参画の推進

事業名	14 料理教室の実施	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施 父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象にして、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋の料理教室を実施し、11組の親子が参加した。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	「どすこい！クッキング！」の募集にあたり、小学校に配布しなかった結果、応募が減ってしまった。「どすこい！クッキング！」は父親の家事参加を目的としているため、母親が参加できない。		今後の方向
今後の取り組み	「どすこい！クッキング！」について、チラシの配布や周知方法を改善し、イベントを十分に周知して継続した取組を行う。 「どすこい！クッキング！」のように父親だけでなく、母親も参加できるような事業を検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	15 各種講座の実施	担当:生涯学習課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・生涯学習講座は、社会教育法に基づき、年間を通して、市民の幅広い世代を対象に実施した。</p> <p>・わくわくチャレンジ講座は、小学1年生から中学3年生までを対象とし、異年齢の集団で体験活動を行い、自主的・協調性・忍耐力を高め、互いに助け合う心・思いやる心を育てた。 (わくわくチャレンジ講座 前期:9回・後期:8回 延べ参加者数 H30:398名, R1:436名 昨年度比: +38名)</p> <p>・親子講座は、保育者と子を対象とし、外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供し、子育てが楽しく感じられるよう支援した。 (みらい親楽講座 前期:8回・後期7回 延べ参加者数 H30:296名, R1:404名 昨年度比:+108名)</p> <p>・よつわ大学は、60歳以上を対象に午前の部「学び」、午後の部「趣味」をテーマに学びの機会を提供した。 (伊奈公民館:全7回・谷和原公民館:全7回 延べ参加者数 H30:146名, R1:161 昨年度比:+15名)</p> <p>・公民館講座は、「趣味・健康・料理」などのテーマごとの講座を開設し、市民の交流を図った。 (生涯学習講座 前期:20回・後期:20回 H30:980名, R1:768名 昨年度比:-212名)</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	小中学生向け講座は年々、参加者が増加している。課題は、応募者多数により講座を受講できない児童生徒も多くなる点である。		今後の方向
今後の取り組み	今後も小中学生向け講座、親子向け講座をそれぞれの狙いに基づき、実施していく。 市民のニーズをとらえて、各講座の内容を決定し、参加できる人数を増やし、講座を受講できない人が出ないように対策をすることで、満足度を上げていくようにする。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題3. あらゆる暴力の根絶

1. DV防止と被害者への支援

事業名	16 DV防止に関する啓発活動の実施	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・広報つくばみらい11月号にて、DV防止に関する各種相談窓口を掲載し、被害にあった場合には、相談するよう促した。</p> <p>・第2次男女共同参画計画概要版にて、DVの相談窓口を掲載している。</p> <p>・庁舎内に啓発ポスターを掲示した。</p> <p>・女性への暴力の根絶を掲げるパープルリボン活動に参加した。</p> <p>・DV相談窓口として、女性相談を行った。</p> <p>・女性相談についても公共施設やスーパーの女子トイレに名刺サイズの案内カードをおいて、啓発を行った。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	被害者がDVを犯罪と認識せず相談に至らないケースや、なかなか相談に踏み出せないケースも多く、潜在化してしまいがちである。		今後の方向
今後の取り組み	定期的に広報つくばみらいや市ホームページにおいて、DVの概要について周知を行うとともに、相談を促す。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	16 DV防止に関する啓発活動の実施	担当:こども課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・広報つくばみらい11月号にDV防止に関する啓発記事を継続して掲載した。 ・国・県で作成したDV防止に関するパンフレット(相談窓口案内等)を庁舎等公共施設で配布している。 ・庁舎内にDV防止の啓発ポスターを掲示した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる
現状と課題	DV被害はなかなか相談しにくいものであるため、継続的な相談窓口の周知・啓発が重要であるため今後とも同様の活動を実施していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、広報つくばみらいによる啓発記事を掲載する。各イベントでのパンフレットの配布を継続して行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	17 相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から女性が抱える問題を解決できるように女性相談を開始した。(原則毎月第4木曜日 相談件数:24件) 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	新規事業であるため、様々な手段で、市民に周知していく必要がある。今は女性しか相談できる窓口がないため、性別にかかわらず相談できる窓口の周知が必要になる。		今後の方向
今後の取り組み	広報つくばみらいや市ホームページの活用、市内スーパー等へのチラシの掲示と名刺サイズの案内カードの設置を行い、女性相談の周知を行っていく。市ホームページで、国や県などの様々な団体で行っている、性別にかかわらず相談できる窓口へのリンクを貼って案内をする。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	17 相談体制の整備	担当:こども課	達成度	
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・広報つくばみらい11月号に相談先の情報提供を行うとともに、市ホームページに掲載している。</p> <p>・婦人相談員の配置がないため、保健師、母子・父子自立支援員が対応しているが、相談及び対応は適切に実施されている。</p> <p>・婦人相談所、警察署との連携も密に実施している。</p> <p>【DV相談件数】 相談件数推移(相談人数/相談回数) 平成20年度: 2人/ 11件 平成21年度:10人/ 20件 平成22年度: 5人/ 11件 平成23年度:13人/136件 平成24年度:16人/187件 平成25年度:13人/124件 平成26年度: 7人/ 44件 平成27年度:10人/ 85件 平成28年度:10人/ 44件 平成29年度:13人/ 39件 平成30年度:17人/ 33件 令和元年度: 7人/ 39件</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>b 自分の生き方を自分で決めることができる</p>	
	現状と課題	相談件数は増加傾向にある。専門職員がいない。		今後の方向
	今後の取り組み	身近な場所での相談機関があることで、相談しやすい環境となる。相談先について広報つくばみらい、市ホームページ等で周知していく。研修会等に継続的に参加して、相談員のスキルアップを図っていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	18 相談員のスキルアップ	担当:こども課	達成度	
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・以下の研修会に参加して、相談員のスキルアップを図った。</p> <p>水戸 市町村新任研修(5/8・9) つくば保健所 周産期のメンタルヘルスケア支援研修(6/10) つくば保健所 母子保健会議(8/1) 筑西児童相談所 ペアトレ研修(8/2) 県立医療大学 ペアトレ研修(8/30) 茨城町警察学校研修センター 要保護児童対策地域協議会警察部会(11/18) 県南家庭児童相談員連絡会(11/28) 里親会(12/1) 養護費研修会(12/26) つくば保健所 母子保健福祉連携会議(2/6) 母子寡婦福祉指導者研修(2/17)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる</p>	
	現状と課題	相談に関係すると思われる研修会には積極的に参加するように促している。		今後の方向
	今後の取り組み	今後も積極的にスキルアップのための研修会等に参加し、情報収集を行い、地域連携等を模索しながら子育て支援に関する相談の資質を向上させていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	19 被害者の住民票及び戸籍の附票の交付制限	担当:市民窓口課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・住民基本台帳事務におけるドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等、児童虐待及びこれらに準ずる被害者保護の支援措置を、被害者からの申出により実施。申出者は、警察等の相談機関に相談の上で申出を行い、当該は、住民基本台帳の閲覧制限、住民票(除住民票)の交付制限、本籍(前本籍)の戸籍の附票の交付制限を実施する。</p> <p>・加害者によるなりすまし等の申請を防止し、関係各機関及び関係各課と連携しながら被害者の住所を加害者に知られることのないよう保護している。加害者からの請求については、「不当な目的」(住民基本台帳法第12条及び第20条)があるもの又は同法第11条の2に掲げる活動に該当しないものとし、交付も閲覧も制限している。第三者からの請求については、加害者のなりすましによる請求に注意し、顔写真付きの公的身分証明書の提示を求めるなど、より厳格な確認を行っている。</p> <p>・令和元年度支援措置件数 42件(男性からの申出5件、女性からの申出37件) 内訳 A:配偶者暴力防止法に基づく支援措置14件(新規3件/延長11件) B:ストーカー規制法に基づく支援措置6件(新規1件/延長5件) C:児童虐待防止法に基づく支援措置3件(新規3件/延長0件) D:A~Cに準ずるケースの支援措置21件(新規2件/延長19件)</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
			その他
			今後の方向
現状と課題	実施にあたり、外部の相談機関への照会等が必要なため事務処理に時間を要するが、交付制限については、データの仮止め処理を行い対応している。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、関係各機関及び関係各課と連携しながら、迅速で確実な処理を実施する。また被害者の住所が加害者に知られないよう、なりすましや不当目的の申請に注意し、厳格な審査を実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. あらゆるハラスメントの防止

事業名	20 各種ハラスメント防止対策の推進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・市男女共同参画推進月間である11月に、図書館の特設ブースにハラスメントに関する本を設置した。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
			c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
			今後の方向
現状と課題	ハラスメントは多様化しており、各種ハラスメント防止対策について周知を行うとともに、相談窓口や再発防止に向けて何を行うべきか周知していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	国等のハラスメント防止に関するマニュアルを研究し、市民や事業所への啓発方法を検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	21 ハラスメント相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	・令和元年度から女性が抱える問題を解決できるように女性相談を開始した。 (原則毎月第4木曜日)		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と 課題	新規事業であるため、様々な手段で、市民に周知していく必要がある。 今は女性しか相談できる窓口がないため、性別にかかわらず相談できる窓口の周知が必要になる。		今後の方向
今後の 取り組み	広報つくばみらいや市ホームページの活用、市内スーパー等へのチラシの掲示と名刺サイズの案内カードの設置を行い、女性相談の周知を行っていく。 市ホームページで、国や県などの様々な団体で行っている、性別にかかわらず相談できる窓口への案内する。		① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. メディアにおける人権の尊重

事業名	22 人権を尊重した表現の推進に向けた啓発	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	・「LGBTなどの性的少数者に配慮した行政窓口での対応の手引き」を作成して、職員に配布し、適切な対応をするよう呼びかけた。 ・広報つくばみらい11月号にDV防止に関する啓発記事を継続して掲載した。 ・女性活躍推進に関するチラシを市内のスーパーや金融機関に配置した。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と 課題	社会では、未だに性的志向に関して根強い偏見や差別があり、DVに関しても件数が増加している。 また、女性活躍推進も十分には周知されていない。		今後の方向
今後の 取り組み	誰もが、性別に関係なく、個性と能力を尊重して活躍できる社会に向けて、理解促進に向けた啓発活動を進めていく必要がある。 DV防止の啓発や女性相談について、引き続き広報してDV防止やDVIについて相談しやすい体制づくりを推進する。 継続して女性活躍推進に関するチラシを市内に配置する。		① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	23 人権を尊重した表現の推進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・パートナーシップ制度について庁内掲示板で市職員に周知し、各課の申請書や配布物において、LGBTなどの性的少数者への人権を尊重した表現への配慮を促した。</p> <p>・市内の公共施設の多目的トイレの表記を「だれでもトイレ」に変更し、性別や年齢にかかわらず、誰もが利用しやすい表現に切り替えた。</p>		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と 課題	職員が、男女共同参画の視点に立った表現を行うことができるよう、意識づけを行う必要がある。		今後の方向
今後の 取り組み	庁内掲示板にて、ガイドラインを定期的に掲載し、各課において適切な表現を行うよう促す。市職員に対して、人権を尊重した研修を行い、理解・促進を促す。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	23 人権を尊重した表現の推進	担当:秘書広報課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・広報つくばみらい上の表現において、子育て支援関連情報の記事中に、パパ・ママと並列表記を行うなど、男女共同参画の考えに即した観点の下、編集・制作を行った。</p> <p>・広報つくばみらいのイラストについても、性別による固定的な役割を連想させるものを排除した。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と 課題	男女共同参画の視点に立った表現を浸透させていくことが大切である。		今後の方向
今後の 取り組み	継続して、男女共同参画の考えに即した表現を使っていくとともに、庁内掲示板で人権を尊重した表現を注意喚起する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	24 情報活用能力の育成と情報モラル教育の実施	担当:産業経済課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・インターネットのトラブルや注意点について、消費生活センターの出前講座を実施した。</p> <p>・以下、消費生活センターによる情報モラルに関する出前講座実施一覧</p> <p>1.内 容「ケータイ・ネット安全教室」 実施日:令和元年6月27日 対象:小絹小学校5年生, 教諭, 保護者 133名</p> <p>2.内 容「大丈夫? 携帯電話の落とし穴!」 実施日:令和元年7月4日 対象:谷和原中学校1年生, 教諭, 保護者 184名</p> <p>3.内 容「正しく使おう! インターネット」 実施日:令和元年10月1日 対象:谷井田小学校5年生, 6年生, 教諭 90名</p> <p>4.内 容「ケータイ・スマホ安全教室」 実施日:令和元年11月29日 対象:豊小学校5年生, 6年生, 教諭 56名</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	若年層がインターネットを活用する機会は年々増加しており、情報活用能力の育成は今後も求められる。		今後の方向
今後の取り組み	消費生活センターによる出前講座を活用するよう、各学校に働きかけていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	24 情報活用能力の育成と情報モラル教育の実施	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・小学校段階におけるプログラミング教育の理解と指導力の向上のために研修会を実施した。</p> <p>・各小中学校において、保護者、児童生徒に対して以下の取り組みを行った。 学習に対する興味・関心・理解を促し、個に応じた学習を支援するための教科指導におけるICT活用を図った。具体的には、デジタル教科書の活用、インターネットを活用した動画、情報検索等を実施した。 情報社会で、適正に活動するための基礎となる考え方や態度の育成について、情報モラル教育の充実を図った。 各家庭には、スマホの使い方についての啓発のための資料を配付した。 スマホの使いすぎによる健康被害についての指導を行った。 携帯・スマホ安全教室等の情報モラル研修会を実施した。</p> <p>・プログラミング学習の一貫として、標準規模の小学校にロボットを制御するためのプログラミング学習を試験的に実践した。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と課題	スマホの所有率は年々上がっているが、スマホの使い方等についての各家庭での約束等が十分に決められていないことがあげられる。		今後の方向
今後の取り組み	小学校における「プログラミング教育」の充実を図るために教師の理解と研修の充実を図ることが重要である。 プログラミング学習の一貫として、標準規模の小学校にロボットを制御するためのプログラミング学習を試験的に実践する予定である。 様々な情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動の充実を図る。 情報モラルについての更なる指導の充実を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

基本目標Ⅱ

多様な働き方のための環境整備

～組織が変わる～

基本目標Ⅱ 多様な働き方のための環境整備～組織が変わる～

主要課題 1. 家庭と仕事の両立支援

1. ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた普及・啓発

事業番号	事業名	概要	担当課
25	家庭生活の責任分担に関する啓発の推進	性別役割分担意識の解消や、男性中心型労働慣行の見直しに向け、男女がともに家事や育児、介護に参画することの重要性や一人ひとりの責任に基づく生活のあり方について、事業所や市民に対し、広報・啓発を図る。	地域推進課
26	両親学級の実施	妊婦とその家族を対象とした妊娠・出産・育児に関する講義や実習を行い、パートナーを尊重し合うことの大切さや家族の協力について考えるきっかけづくりをする。	健康増進課
14再	料理教室の実施	簡単な料理法を習得できる講座を実施する。	地域推進課

2. 市内事業所等との連携によるワーク・ライフ・バランスの推進

事業番号	事業名	概要	担当課
27	男女共同参画に関する事業所調査の定期的な実施	事業所に対して調査を定期的の実施し、勤続年数の男女差やワーク・ライフ・バランスの推進など、実態について調査する。	地域推進課
28	事業所等における育児・介護休業制度の導入促進	事業所に対して、「育児・介護休業法」の周知を図り、男性も女性も育児・介護休業制度の導入の促進と、職場復帰しやすい環境づくりについての働きかけを行う。	地域推進課 産業経済課
29	一般事業主行動計画 ¹ に関する啓発	従業員300人以下の事業所に対し、一般事業主行動計画について周知するとともに、策定の働きかけを行う。	地域推進課
30	イクボス ² 育成への啓発	家庭と仕事の両立、働きやすい環境整備のために、理解ある人材の育成を、事業所に働きかける。	地域推進課

¹ 一般事業主行動計画

女性活躍推進法に基づき、常時雇用する労働者数が301人以上の一般事業主に対し、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が義務付けられた。常時雇用する労働者数が300人以下の場合には、努力義務となっている。

² イクボス

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを指す。

3. 子育て家庭への支援の充実

事業番号	事業名	概要	担当課
31	子育て情報の提供	子育て家庭に対するきめ細やかな情報提供を図る。特にインターネットからの情報入手が増えていることに対応し、ホームページなどの活用を図る。	こども課 健康増進課
32	安心で安全な環境の整備	既存施設の改修等、安心で安全な環境づくりに努める。	こども課 教育総務課
33	延長保育・一時預かりの充実	保育所の延長保育や保護者の疾病や冠婚葬祭、介護等の理由により、児童の保育が困難になったときの一時預かりの充実を図る。	こども課
34	放課後子ども総合プランの推進	留守家庭の児童を対象に生活の場を提供する「放課後児童クラブ」と、すべての児童を対象に、体験活動・交流活動等を実施する「放課後子ども教室」を一体的または、連携して実施する。	生涯学習課
35	子育て支援事業の充実	仲間づくりとともに、仲間との交流により自分の子育てを振りかえり、育児不安の解消を図る。	健康増進課
36	ファミリーサポートセンター事業の充実	市民の相互援助組織であるファミリーサポートセンター事業の充実を図る。	こども課
37	子育て相談の充実	乳幼児・児童のあらゆる問題に対し、専門職の立場で相談及び指導を行うとともに、必要な情報や関係機関の紹介・連絡、関係各課との連携を図る。	こども課 健康増進課 教育指導課
38	子育て世代包括支援センター事業の実施	妊娠期から子育て期にわたるまでサポートし、安心して出産や育児ができるよう支援する。	健康増進課 こども課
39	子育て中の保護者が使いやすい施設整備	妊産婦優先駐車場の確保や、赤ちゃんの駅の設置など、外出時の支援を図る。	財政課 こども課
40	児童虐待防止に向けた意識啓発の推進	広報紙等を通して児童虐待防止に向けた啓発を行う。	こども課

4. 介護支援の充実

事業番号	事業名	概要	担当課
41	介護に関する講座の実施	介護の知識習得のため、介護に関する講座を実施する。	介護福祉課
42	生活援助事業	清掃、洗濯、買い物、理髪や介護用品の支給など日常生活の助成を行い、高齢者の自立と生活の質の確保を図る。	介護福祉課

主要課題 2. 雇用や職業の場における男女共同参画の推進

1. 雇用の分野における均等な機会と待遇の確保, 職場環境の整備

事業番号	事業名	概要	担当課
43	均等な雇用機会等の確保に向けた広報・啓発の推進	男女雇用機会均等法, 労働基準法などの関係法令や, 各種助成金・補助金などの制度について県との連携のもと周知を図る。	地域推進課
44	「パートタイム労働法」等の普及・啓発の推進	事業所に対し, 短時間労働者や非正規労働者の労働条件が向上するよう「パートタイム労働法」や「労働者派遣法」の普及促進を行う。	地域推進課

2. 農業・商工自営業における男女共同参画

事業番号	事業名	概要	担当課
45	家族経営協定の周知・締結促進	家族経営体の構成員の役割分担, 給料制, 休日労働時間等の意識啓発を図る。	産業経済課
46	商工会活動の推進	商工業に従事する女性の経営能力の向上や地域リーダーの育成を図るための研修等への支援を行う。	産業経済課
47	女性の起業や経営参画の促進	産地直送販売などの活動を支援し, 女性の起業や経営参画を促進する。	産業経済課

3. 女性の再就職への支援

事業番号	事業名	概要	担当課
48	女性の再就職に関する情報の提供	ハローワークや県と連携し, 女性の再就職に関する情報を収集・提供する。	地域推進課 産業経済課
49	女性の再就職支援	女性の再就職に向け, 必要な知識や技能を習得できるよう講座の充実を図る。	地域推進課

4. 多様な働き方への支援

事業番号	事業名	概要	担当課
50	就業に関する情報の収集・提供	就業に関する情報の収集・提供を行う。	産業経済課
51	各種講座・セミナーの情報提供	創業支援事業等に関する情報提供を通じて, 就業機会の拡大を図る。	産業経済課
52	能力発揮促進のための情報収集・提供	関係機関で開催する能力発揮促進に関する情報を収集し, 提供する。	産業経済課
53	女性の起業支援	女性の起業の手助けを図るため, 関係機関で開催する講座等の情報を収集・提供する。	地域推進課 産業経済課

主要課題1. 家庭と仕事の両立支援 1. ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた普及・啓発

事業名	25 家庭生活の責任分担に関する啓発の推進	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・中学生出前講座の中で、家族の協力が大切であることを説明した。そのうえで、それぞれの立場を理解し、家族みんなが自分のできることをして助け合うことが重要であることを訴えた。 出前講座受講実績 市内中学校(4校) 参加人数362人</p> <p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施 父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象にして、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋の料理教室を実施し、11組の親子が参加した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	若い世代に向けて、男女が共に家庭生活において責任を果たす重要性について啓発している。		今後の方向
今後の取り組み	実施後のアンケートから、事業の有効性がうかがえるため、今後も継続して実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	26 両親学級の実施	担当: 健康増進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・子育てについて夫婦で考えるきっかけ作りの場を提供することを目的に「パパママ教室」を実施した。 実施回数 5回/年 参加者 71組(142名)</p> <p>・子育てについてのDVD鑑賞を廃止し、赤ちゃんの抱っこ方法・おむつのあて方・産後うつ・パパの育児や産後のママへの関わり方等について保健師から講義及び体験を行う方法に変更した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	妊婦中心のプレママ教室との差別化を図り、パパの育児参加等パパの役割に関した内容を検討する必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	パパの育児参加を促すため体験・実習を取り入れ妊娠中から育児について具体的なイメージができるよう内容の見直しを行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	14再 料理教室の実施	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施 父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象にして、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋の料理教室を実施し、11組の親子が参加した。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>「どすこい！クッキング！」の募集にあたり、母子家庭に配慮して小学校に配布しなかった結果、応募が減ってしまった。 「どすこい！クッキング！」は父親の家事参加を目的としているため、母親が参加できない。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>「どすこい！クッキング！」について、チラシの配布や周知方法を改善し、イベントを十分に周知して継続した取組を行う。 「どすこい！クッキング！」のように父親だけでなく、母親も参加できるような事業を検討する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 市内事業所等との連携によるワーク・ライフ・バランスの推進

事業名	27 男女共同参画に関する事業所調査の定期的な実施	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・下記のとおり、男女共同参画に関する市内事業所調査を実施した。</p> <p>1 目的 市内事業所調査を定期的に実施し、男女共同参画に係る取り組みやその進捗状況を明らかにすることにより、今後の施策の展開にいかす。</p> <p>2 期間 令和2年2月21日(金)～令和2年3月13日(金)</p> <p>3 対象 地域推進課にて抽出した事業所150ヶ所</p> <p>4 方法 封筒にて郵送し、返信用封筒にて無記名で返信</p> <p>5 回収率 38.0% 57事業所回答(昨年度 44.6% 67事業所回答)</p> <p>6 調査項目・事業所の概要について・計画策定について・ワーク・ライフ・バランスに関する取組について・ハラスメント対策について</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法による「一般事業主行動計画」を策定している事業所が少ない。 また、育児休業等の制度が整備されていない事業所が多い。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>男女共同参画の推進に向けて、定期的な調査を行い、現状を把握する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	28 事業所等における育児・介護休業制度の導入促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・市内各事業者に対しては、茨城労働局などから育児・介護休業制度に関する周知が図られている。市としては、市内の金融機関・スーパーに国・県で作成したチラシの掲示を依頼し、啓発を図った。</p> <p>・市ホームページにおける、「育児・介護休業法に関するお知らせ」というページにて、事業者や育児・介護休業法を取得する予定の方に対して法・制度を周知している。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	国や県が作成したパンフレットや、市ホームページにおいて、周知および取り組みの促進を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、事業者や、育児・介護休業を取得予定の方にとって、分かりやすい情報発信に努める。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	28 事業所等における育児・介護休業制度の導入促進	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・国・県が作成した「育児・介護休業制度」に関するリーフレット等を課窓口や庁内ラックに設置し、啓発した。</p> <p>・商工会等を通じ、市内事業者へ制度の周知に努めた。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	事業所に対して直接的にパンフレット等を配布しているわけではない。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、本年同様の取り組みを実施する。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	29 一般事業主行動計画に関する啓発	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・厚生労働省が実施している「女性活躍推進アドバイザー」事業に関するチラシを市内事業所に送付し、活用を促した。</p> <p>※女性活躍推進アドバイザー…女性活躍を推進するにあたり、課題分析、一般事業主行動計画の策定方法、社内への通知や各都道府県労働局への届け出についてなど説明する。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	従業員300人以下の中小企業は、一般事業主行動計画の策定・届出は努力義務となっているが、女性活躍の重要性を理解してもらい、取り組みを進めていただく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	厚生労働省等の制度を利用して、策定を検討してもらえるよう、働きかけを行っていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	30 イクボス育成への啓発	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・市ホームページにおいて、厚生労働省が実施している「イクメンプロジェクト」をリンクし紹介している。</p> <p>・市男女共同参画推進月間である11月に、図書館で啓発コーナーを設置し、男性の家事・育児に関する本を紹介した。</p> <p>※イクボス…職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指す。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			効果
			<p>c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	イクメンを増やしていくためには、経営者や管理職の意識を変えていく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	事業所にチラシやリーフレットを送付するなど、経営者や管理職に対する働きかけを検討していく。		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

3. 子育て家庭への支援の充実

事業名	31 子育て情報の提供	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援室イベント情報等を、広報つくばみらいに毎月掲載した。 ・「みらいっこ通信」を各子育て支援室、健康増進課窓口等で毎月配布した。 ・ママフレアプリを導入し、プッシュ通知で子育てイベント情報等を随時発信、子育て情報を掲載(手軽に子育ての情報が得られる)している。 ・冊子「こんにちは赤ちゃん」の作成・配布し、子育てに関する情報提供を行った。(母子健康手帳交付時、各子育て支援室での配布) ※ママフレ…子育てに関する行政サービスを紹介するサイト		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	インターネット上では様々な育児情報が氾濫する中、正確な育児情報などが得にくい。		今後の方向
今後の取り組み	今後もイベント情報などを広報つくばみらいやみらいっこ通信などで積極的に育児情報等を周知していく。 ママフレアプリ、冊子「こんにちは赤ちゃん」の内容について定期的な見直しを実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	31 子育て情報の提供	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関する事業や予防接種について広報つくばみらいやホームページで毎月掲載した。 ・ホームページに載せているチラシを閲覧者に見てもらえるように改善した。 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と課題	年度の初めに全事業を見直し、事業の案内を市ホームページに掲載している。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、市ホームページで掲載内容や掲載方法について、利用者がよりわかりやすいように見直しをしていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	32 安心で安全な環境の整備	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市内公立保育所において、例年どおり消防設備点検、厨房害虫駆除、冷暖房設備点検、清掃業務、警備業務を委託し、設備等の環境維持に努めた。 年1回実施する監査による指導のほか、電話連絡等により情報共有を図り、保育所を随時訪問指導等を実施した。 市内民間保育施設については、運営費として委託費または施設型給付費を的確に支払い、安心・安全な保育環境の維持・向上に寄与した。 児童の受け入れについては、毎月保育士の配置状況を確認し、配置基準を順守した保育の利用調整を行った。 公立保育所及び児童館の劣化調査を行い、次年度の補修対策を講じた。 保育施設での児童受け入れについて、毎月保育士の配置状況の確認を徹底し、配置基準を順守した保育の利用調整を行った。 市内保育施設における児童の散歩コース危険個所の確認を行い、各保育施設に危険重点箇所の対策を講じた。 新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした、接触感染等を防ぐため、各公立保育所にくん蒸機能付空気清浄機を設置した。 新型コロナウイルス感染症対策のため、利用児童や来訪者の健康確認、保育施設内の「3密」を避ける対策及びおもちゃ等の徹底した衛生管理等に取り組んだ。 谷和原第1保育所及び谷和原第2保育所における給食調理業務を次年度から専門業者に委託できるよう準備した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる。性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	公私連携施設(ふれあい第1保育園、第2保育園)の耐震改修が未実施であり、改修方法及び経費負担等について、連携先の市社会福祉協議会と協議を進め、改修計画を具体化させる必要がある。また、伊奈第1・第2、谷和原第1の調理室について、衛生面及びアレルギー対応に適していない環境があり、改善・工夫が必要である。 伊奈第1保育所及び伊奈第2保育所においても、R3年度以降に給食調理業務を委託できるよう、委託基準を満たすため調理室の改修が必要である。 新型コロナウイルス感染症対策について、R2年度以降も対策を講じる必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	公私連携施設の耐震化について、改修計画を策定し、適正に耐震改修を実施する。例年どおり点検業務等を委託し、設備等の環境維持に努める。あわせて、監査や訪問等により指導を行い、改修等による改善が必要な場合には、計画的に取り組んでいく。 伊奈第1保育所及び伊奈第2保育所の調理室の改修を進める。 新型コロナウイルス感染症に対する国や県の動向を注視し、市として判断した対策に適宜対応していく。		① 充実させる 2 継続 3 見直し 4 廃止 5 その他()
事業名	32 安心で安全な環境の整備	担当:学校総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校から施設の修繕要望に対して予算化し、修繕工事を実施した。また、直営で対応できる修繕については、予算化せず職員で対応した。 小学校工事費 96件 予算額 49,290,000円 執行額 49,280,928円 中学校工事費 38件 予算額 7,861,000円 執行額 7,853,686円 直営工事 7件 (修繕工具体例) 消防設備(小張小学校) プール設備(各小中学校) 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	全14校の内12校については、老朽化しており今後も修繕箇所が増加していく恐れがある。		今後の方向
今後の取り組み	各小中学校の修繕要望について、一箇所でも多く対応し、児童及び生徒の安全を図っていく。		1 充実させる ② 継続 3 見直し 4 廃止 5 その他()

事業名	33 延長保育・一時預かりの充実	担当:こども課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・延長保育:市内のすべての認可保育施設(公立保育所, 私立保育園, 私立認定こども園, 私立地域型保育施設 計20施設)において, 通常の開所時間を越えた延長保育を実施した。</p> <p>・一時預かり:市内の認可保育施設のうち10施設のほか, 一時保育のみを運営する施設で実施した。 (延べ利用者数:2,967人 開所日数:最大290日)</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる</p> <p>c 性別による役割分担意識の解消ができる</p> <p>d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる</p> <p>f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる</p> <p>g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p> <p>h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	延長保育は, 多様な働き方に対応できるよう, 延長時間のさらなる拡大が求められることが予想される。一時預かりについては, 保育所に入所できないことを理由に利用せざるを得ない状況や, 市外施設の利用している状況も見受けられ, 需要が高まっている。いずれの事業においても, 通常保育の保育士の確保ですら困難な施設もあり, 現行の保育施設での事業拡大は難しい。	今後の方向	
今後の取り組み	一時預かりは, 本来, 冠婚葬祭やリフレッシュなどの一時的に利用することを主としているが, 保育所等に入所できないために, 一時預かり利用を常態としている保護者も見られる。本来の一時預かりとしての対応ができるよう, 一時預かりの利用背景から, 通所保育の需要を把握するとともに, 必要に応じて通常保育の受け皿確保に努める。	1. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()	
事業名	34 放課後子ども総合プランの推進	担当:生涯学習課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・すべての小学校で, 児童クラブと子ども教室の民間による運営を行い, 放課後の子どもたちが安心して過ごせるようにサービスの充実を図った。</p> <p>・子ども教室と児童クラブが連携して一体的に事業を展開できるように, 小学校区ごとに学校, 子ども教室, 児童クラブの関係者による運営会議を開催し, 活動プログラム内容の検討や情報交換・共有などの連携を図った。</p> <p>・令和2年度から統合する谷井田小・三島小, 板橋小・東小の児童クラブと子ども教室についても, 学校と同様に統合するため, 円滑に開始できる体制を整えた。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			<p>g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p> <p>h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	増加するみらい平地区の児童に対応するため, 陽光台小児童クラブの定員を増やして対応した。今後も増加が見込まれるため, 富士見ヶ丘小児童クラブも併せて, 受け入れ体制の確保が必要となる。	今後の方向	
今後の取り組み	みらい平地区の児童の増加に対する対応策を検討し, 放課後の安心安全な居場所づくりを行い, 安定的な保育サービスの提供を図る。	1. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()	

事業名	35 子育て支援事業の充実	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・育児技術の習得と保護者同士の交流を図ることにより育児孤立化を防ぐことを目的として「はぐはぐ教室」を実施した。</p> <p>・また、助産師等の専門家による訪問や施設での支援を提供することで、育児不安が軽減できることを目的に「産後ケア事業」を実施した。 はぐはぐ教室 実施回数:11回 延べ参加者数: 188名 産後ケア事業 通所型-延べ利用者: 64名 訪問型-延べ利用者: 76名</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	<p>教室は、令和元年度より内容を変更した体操や参加者間の交流については非常に満足度が高い。産後ケア事業については、通所型の利用が今年度多かったため、通所型の施設を増やすことや利用者から要望が高かった宿泊型を検討した。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>宿泊型の導入および通所型施設を拡大を図る。</p>		<p>①. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()</p>
事業名	36 ファミリーサポートセンター事業の充実	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・女性の就労形態の変化に伴い、地域の育児に関する相互援助活動を実施し、安心して子どもを生み健やかに育てることができる環境づくりを実現するための事業である。子育て家庭の日常生活上の負担を少しでも軽くするため、☞助け合いの心☜を持った地域の人々の協力により行う、会員方式の有料の福祉サービスである。</p> <p>・事業時間⇒7:00～20:00(12月29日～1月3日は休み)</p> <p>・会員状況⇒利用会員:180人(前年度末対比33人増)小学生までの子を持つ保護者で、育児の援助を受けたい方 協力会員:40人(前年度末対比3人増)保育知識及び育児経験のある方で育児の援助等のサービス(子育て)をしてくれる方</p> <p>・会員育成⇒会員を対象とした研修会を毎年実施</p> <p>・実績⇒派遣回数(延):666回(前年度末対比50回増)、活動時間(延):1059.5時間(前年度末対比74.5時間増)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>派遣回数、活動時間ともに増加している。協力会員1人に係る負担が増加している。協力会員数が高齢化している。協力会員を希望する方がいない。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>社会福祉協議会と協働しながら、協力会員を増やしていくための周知活動を実施していく。協力会員の資質向上のための研修会を継続して実施していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()</p>

事業名	37 子育て相談の充実	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 家庭児童相談室の設置 相談員⇒家庭児童相談員1人, 母子・父子自立支援員1人, 保健師3人(保健師2人増員) 相談の対応方法 休日の虐待の相談対応⇒いばらき虐待ホットラインの紹介 連絡体制⇒状況を確認後, 土浦児童相談所と連絡を取り合い対応を協議 相談内容 家庭児童相談(不登校・育児・発達)⇒児童数32人 虐待相談(新規受理分)⇒ネグレクト28人, 身体的虐待19人, 心理的虐待16人, 性的虐待0人, 特定妊婦19人 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	虐待に関する相談件数が増加傾向である。		今後の方向
今後の取り組み	虐待が疑われる事例等が発生した場合の連絡, 連携方法について今後も継続して周知していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	37 子育て相談の充実	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 保健師・栄養士による電話・窓口・面接などの育児相談を随時実施した。また, ひよこ広場や子育て支援室で, 保健師・栄養士の育児相談を実施した。 電話相談-2,380件 窓口相談-1,190件 面接相談-30件 子育て支援室での育児相談 実施回数-22回 相談者-163名 ひよこ広場での育児相談 実施回数-11回 参加者-310組 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	相談内容等スタッフで共有し, 継続した支援ができるよう実施している。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き, 継続支援が必要なケースについては情報を共有して支援していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	37 子育て相談の充実	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に課題がある児童生徒及び就学前の幼児に対して、発達の状況を確認しながら教育相談を行い、よりよい就学に向けての相談業務を実施した。 ・教育支援委員会において、児童生徒の就学について共通理解と判定を行った。 ・特別に配慮が必要な児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、個別に対応している。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	発達に障害を持つ児童生徒が増加傾向にあり、その対応に苦慮することもある。		今後の方向
今後の取り組み	教職員のインクルーシブ教育の理解と研修の充実を図る。 特別支援教育支援員への発達に課題のある児童生徒への対応方法についての研修の充実と理解を図る機会の充実を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	38 子育て世代包括支援センター事業の実施	担当:健康増進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ専門的な知見と当事者目線の両方の視点を生かし必要な情報を共有して、切れ目なく支援を行った。 ・母子保健コーディネーターが全妊婦に対し子育てサポートプランを作成するとともに要支援妊産婦の支援及び相談を実施した。 ・子育て支援コーディネーターによる子育て支援室等身近な場所での育児相談を実施した。 令和元年度実績 実施回数:22回、相談人数163名 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と課題	問題のあるケースが増えていることでより充実したサポートが必要になっていることから、関係機関との連携を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、相談支援等で妊産婦、子育て家庭の個別ニーズを把握し、必要なサービスを円滑に利用できるようきめ細かく支援していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	38 子育て世代包括支援センター事業の実施	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・利用者支援として、子育て支援室などの身近な場所で、①子育て家庭等から日常的に相談を受け、個別のニーズ等を把握、②子育て支援に関する情報の収集・提供等、市民の目線に立った、寄り添い型の支援を実施した。</p> <p>・地域連携として、①より効果的に利用者が必要とする支援につながるよう、児童相談所や医療機関、子育て支援室との連絡調整、連携、協働の体制づくり、②地域に展開する子育て支援資源の育成等、地域における子育て支援ネットワークに基づく支援を実施した。</p> <p>子育て支援室訪問⇒96回 子育て支援室でのイベント⇒15回 地域の母子とつながるひとりぼっちにしないプロジェクト会議⇒8回 子育て支援室職員勉強会⇒1回</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	子育てをしやすい環境づくりを関係機関とともに検討していく必要がある。また、育児相談の内容は、子どもの成長に関することのみならず、発達に関すること、栄養に関すること等、多様化しているため、職員の資質の向上が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	関係機関と子育て環境や体制づくりについて検討し、必要に応じて事業化をしていく。子育て支援室職員等への勉強会を定期的に開催する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	39 子育て中の保護者が使いやすい施設整備	担当:財政課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・多目的トイレを「だれでもトイレ」と表記変更して、子育て中の保護者でも使いやすいように配慮した。</p> <p>・だれでもトイレの整備状況 伊奈庁舎 3か所(各階1か所) 谷和原庁舎 1か所(1階1か所)</p> <p>・妊産婦優先駐車場の整備状況 伊奈庁舎 7台(正面駐車場5台・図書館側駐車場2台) 谷和原庁舎 1台(県道側駐車場)</p> <p>・キッズスペースの整備状況 伊奈庁舎 1か所(1階1か所)</p>		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	妊産婦優先駐車場や、キッズスペースなどを設置し、妊産婦の方が利用しやすいよう環境整備を進めている。		今後の方向
今後の取り組み	要望に応じ施設の充実を図るとともに、安全・衛生面を考慮した器具の更新等を行っていく。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	39 子育て中の保護者が使いやすい施設整備	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・妊娠時期から出産・育児に係る子育て中の親子の方々が気軽に集い、楽しくふれあい、遊びやお話をしたり、友達になつたりできる場を提供するとともに、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援、育児に対する情報提供など地域の子育て支援の核となる子育て支援室の整備を図る。</p> <p>フラワー(谷和原第2保育所, H23.10月～)⇒月～金, 午前9時～午後4時 小絹児童館子育て支援室(H26.4～)⇒火～日, 午前9時～午後6時 おひさま(みらい平コミセン, H26.11～)⇒火～日, 午前9時～午後6時 認定こども園みらい平ふたばランド子育て支援室(H20.4～)⇒月1回 認定こども園富士見ヶ丘子育て支援室(H26.4～)⇒月～金, 午前10時～午後4時 きらくやまこどもひろば子育て支援室(H27.4～)⇒火～土, 午前10時～午後4時 認定こども園ルンビニー学園子育て支援室(H28.4～)⇒月～金, 午前9時30分～午後3時 みらい認定こども園子育て支援室(H28.4～)⇒月1回</p> <p>・出張子育て支援室を、伊奈公民館、谷原分館、福岡分館、谷井田コミセン等で実施している。</p> <p>・赤ちゃんの駅の整備状況 公共施設 15か所 民営施設 15か所 公園 4か所</p>	1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
			今後の方向
現状と課題	施設間で取り組み状況に格差がある。地域の子育て世代の方が気軽に参加しやすい取り組みを検討していく必要がある。		
今後の取り組み	市内全体の地域性や将来性等を踏まえ、空き教室等の利活用を総合的に判断し、地域子育て支援センターの整備、検討を行う。 施設の取り組み状況を把握するとともに、今後の取り組みについて随時検討していく。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	40 児童虐待防止に向けた意識啓発の推進	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・以下の取り組みを行うことで、児童虐待防止に向けた啓発を行った。 家庭児童相談員、母子・父子自立支援員、保健師が、校長会・保育園会議等に参加し、児童虐待防止の啓発活動を実施した。 各公立保育施設での講話等において、児童虐待防止に関するリーフレット等の配布した。 11月、子育て支援室及びこども課でオレンジリボン運動に参加し、児童虐待啓発キャンペーンを実施した。 広報つくばみらい11月号及び市ホームページに、家庭児童相談事業・ひとり親相談事業の記事を掲載した。</p>	1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	効果
			h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
			今後の方向
現状と課題	小学校や保育施設によって虐待に関する危機感に差がある。		
今後の取り組み	虐待の早期発見できる虐待防止に関する地域・ネットワークづくり 庁内連携や関係機関との連携強化 子育て支援のネットワーク構築 虐待が疑われる事例等が発生した場合の連絡、連携方法について今後も継続して周知していく。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

4. 介護支援の充実

事業名	41 介護に関する講座の実施	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・地域介護ヘルパー養成研修:20歳代1名, 40歳代1名, 他は65歳以上で計14名が参加。広報つくばみらいへの掲載の他, 回覧にて周知を行った。</p> <p>・地域介護ヘルパー養成研修修了者を対象としたフォローアップ研修:延14名が参加した。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>○ 性別による役割分担意識の解消ができる ♀ 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>自分のため・家族のために受講する方が多い。より実践的な内容を学べるようにと講師には当市を拠点として活動している専門職をお願いしており, 参加者にはとても好評である。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>引き続き実施していく。自分のためや配偶者のために受講する方が多い。就労のため・親の介護のため等, 若い世代の受講が増えるよう, 今後は周知方法も検討していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	42 生活援助事業	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・配食サービス事業:65歳以上のひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対し, 在宅生活を継続するために, 栄養バランスの取れた食事を提供する。(45人 延2,807食)</p> <p>・有料在宅福祉サービス事業:60歳以上の高齢者等に対し, 清掃・洗濯・買物・話し相手などの家事援助サービスを行い, 利用者の日常生活の援助を行う。(利用会員 91人 延 747時間)</p> <p>・理髪サービス事業:市民税非課税世帯に属する65歳以上の寝たきり高齢者, 重度心身障がい者のいる家庭に対し, 理容師を派遣し, 介護者の負担軽減を図る。(14人・年4回)</p> <p>・寝具洗濯乾燥消毒サービス:70歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯, または寝たきりの65歳以上の高齢者に, 寝具の洗濯等のサービスを行う。(延126人・年2回)</p> <p>・家族介護用品助成事業:市民税非課税世帯であり, 在宅要介護高齢者を抱える家族に対し介護に必要な紙おむつ等の用品の購入に要する費用の一部を助成し, 家族の身体的, 精神的及び経済的負担の軽減を図る。(51人 2,500円・36人 1,250円・15人)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>○ 性別による役割分担意識の解消ができる ♀ 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>高齢者が住み慣れた場所で, 心身及び経済的にも安心して生活することができる。事業によって, 対象となる年齢にばらつきがある。また, 要件に市民税非課税世帯が一部あるが, 市民税確定時期が遅くなる。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>引き続き同様の取り組みを継続していくとともに, 高齢者に適した援助を提供する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題2. 雇用や職業の場における男女共同参画の推進 1. 雇用の分野における均等な機会と待遇の確保, 職場環境の整備

事業名	43 均等な雇用機会等の確保に向けた広報・啓発の推進	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	・茨城労働局からの男女雇用機会均等法に関するリーフレットを庁舎ラックに設置し, 周知を図った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	リーフレットの設置だけでなく, 市ホームページ等においても周知を広く図る必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	他市町村や厚生労働省の啓発事例を研究し, 周知方法を検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	44 「パートタイム労働法」等の普及・啓発の推進	担当: 地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	・市ホームページと茨城県労働局ホームページをリンクさせ, 随時情報提供をしている。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	市ホームページを通じて, 周知を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き, 市ホームページを活用して周知を図っていく。「パートタイム労働法」等の詳しい解説が掲載されている厚生労働省のホームページとリンクさせる。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 農業・商工自営業における男女共同参画

事業名	45 家族経営協定の周知・締結促進	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・農業従事者については、農業経営改善計画認定申請のあった25経営体に対し、制度について説明して締結を促した。 家族経営協定締結数・・・10経営体</p>		<p>①計画どおりに達成できた ②ほぼ計画通りに達成できた ③計画に少し及ばない ④計画にまったく及ばない ⑤実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	<p>家族の中で1名のみが就農するケースが大半であり、協定締結に至らない。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>引き続き農業者に対し周知を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	46 商工会活動の推進	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・商工会へ補助金を交付し、活動支援を行った。(令和元年度補助金1,287万円) 理事会、役員会 5回開催 経営改善普及事業 講演・講習会(集団・個別) 52回開催 創業支援事業(伴走型小規模事業者支援) 8回開催 延べ女性参加人数:17名</p> <p>・その他、市内外各種催しの企画運営・参加協力を行った。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>会員数の減少が課題となっている。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>今後も継続して支援を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	47 女性の起業や経営参画の促進	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・つくばみらい市商工会、守谷市、守谷市商工会と連携し、創業支援セミナー及び個別相談会を開催した。全8回 延べ女性参加人数:17名</p> <p>・外部団体での女性セミナー開催について、来庁者に向けて庁内ラックにチラシを配置して周知を行った。</p> <p>・就農を志す女性に対し、つくば地域農業改良普及センターと連携し就農相談等の支援を行った結果、令和元年度は1名が新規で就農した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	小売・飲食業などは、日中人口やテナント、企業が集約される場所へ出店を希望する傾向が高いが、市内で創業に適した場所が少なく、他へ流れてしまう。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、セミナー等を開催し、創業機運を高めていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. 女性の再就職への支援

事業名	48 女性の再就職に関する情報の提供	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・茨城県及び近隣自治体で実施する再就職セミナー等について、庁内ラック及び公共施設にチラシを設置し、周知した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	パソコン操作のスキルアップなど女性参画に関する講座のチラシを設置し、参加を促している。		今後の方向
今後の取り組み	継続して、情報提供を行っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	48 女性の再就職に関する情報の提供	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーションと連携し、就職に関する情報提供や相談に応じた。 ・ハローワーク求人情報を毎週月曜日に両庁舎へ掲示およびホームページへ掲載して、情報提供を行った。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	求人は多く掲載されているが、条件がマッチしないためか就労に結びつかない		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	49 女性の再就職支援	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者社会復帰支援事業を実施した。 事業概要:育児や移住などの理由で現場を離れたことにより、再就職に不安を持つ有資格者の方に、幼児と触れ合う機会を提供することで、再度現場で活躍する意欲を向上させるとともに、子どもたちと触れ合う感覚を取り戻すきっかけづくりとする。(令和元年度は参加者なし) 		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	問い合わせはあったが、参加要件が合わず、参加には至らない人がいる。		今後の方向
今後の取り組み	有資格者が参加しやすいよう、参加しやすい形式を検討していくとともに、積極的に周知していく。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

4. 多様な働き方への支援

事業名	50 就業に関する情報の収集・提供	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク, 県労働政策課, いばらき県南若者サポートステーション, ポリテクセンターと連携し, 就職に関する情報提供や相談に応じた。 ・ハローワーク求人情報 毎週月曜日に両庁舎へ掲示およびホームページへ掲載した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	求人は多く掲載されているが, 条件がマッチしないためか相談者がいない。		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく。さらに情報提供場所の拡大を検討する。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	51 各種講座・セミナーの情報提供	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページで以下の情報提供を行った。 ハローワーク, 県労働政策課, いばらき県南若者サポートステーションと連携し, 就職に関する情報提供や相談に応じた。 ハローワークのハロートレーニング(公共職業訓練コースガイド)の情報提供を行った。 県施策の「戦略的分野雇用促進事業」の情報提供を行った。 ポリテクセンター茨城の公共職業訓練の受講者募集の情報提供を行った。 ・商工会と連携し, 創業を希望する方, 興味がある方へセミナーを開催した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	さまざまな分野で各種講座が開かれており, 情報量は非常に豊富である。		今後の方向
今後の取り組み	継続して情報提供を実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	52 能力発揮促進のための情報収集・提供	担当:産業経済課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・市ホームページで以下の情報提供を行った。 ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーションと連携し、就職に関する情報提供や相談に応じた。 ハローワークのハロートレーニング(公共職業訓練コースガイド)の情報提供を行った。 県施策の「戦略的分野雇用促進事業」の情報提供を行った。 ポリテクセンター茨城の公共職業訓練の受講者募集の情報提供を行った。</p> <p>・商工会と連携し、創業を希望する方、興味がある方へセミナーを開催した。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	さまざまな分野で各種講座が開かれており、情報量は非常に豊富である。		今後の方向
今後の取り組み	継続して情報提供を実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	53 女性の起業支援	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・茨城県及び近隣自治体で実施する起業セミナー等について、庁舎にチラシを設置し、周知を図った。</p> <p>・茨城県の「男女共同参画チャレンジ相談」(※)を第2次男女共同参画計画概要版にて掲載している。 ※「男女共同参画チャレンジ相談」:再就職や起業、キャリアアップ、地域活動など、様々なことにチャレンジし、新しい可能性を切り開いていこうとしている方からの相談を受ける窓口</p>		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	起業セミナーや、相談窓口について周知を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、随時起業セミナー等に関する情報を発信していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	53 女性の起業支援	担当:産業経済課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・つくばみらい市商工会、守谷市、守谷市商工会と連携し、創業支援セミナー及び個別相談会を開催した。全8回 延べ女性参加人数:17名</p> <p>・外部団体での女性セミナー開催について、来庁者に向けて庁内ラックにチラシを配置して周知を行った。</p> <p>・就農を志す女性に対し、つくば地域農業改良普及センターと連携し就農相談等の支援を行った結果、令和元年度は1名が新規で就農した。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
		b 自分の生き方を自分で決めることができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる	
現状と課題	小売・飲食業などは、日中人口やテナント、企業が集約される場所へ出店を希望する傾向が高いが、市内で創業に適した場所が少なく、他へ流れてしまう。	今後の方向	1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
今後の取り組み	引き続き、セミナー等を開催し、創業機運を高めていく。		

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

基本目標Ⅲ

多様な分野における男女共同参画

～社会が変わる～

基本目標Ⅲ 多様な分野における男女共同参画～社会が変わる～

主要課題 1. 政策・方針決定の過程への女性の参画

1. 審議会等への女性の登用促進

事業番号	事業名	概要	担当課
54	審議会等への女性委員の登用促進	すべての審議会等の女性委員構成割合 30%以上を目標とし、女性の積極的登用について働きかけ、女性委員のいない審議会の解消を図る。	地域推進課 総務課
55	審議会等の会議公開制度	審議会等の会議を公開し、市政への参画意識を高め、積極的に参加できる環境づくりに努める。	総務課
56	女性人材の情報提供	幅広い分野からの女性の登用を図るため、庁内各部署に、女性人材の情報を必要に応じて提供し、活用させる。	地域推進課

2. 女性の能力発揮への支援

事業番号	事業名	概要	担当課
57	民間企業等での女性登用の啓発	事業所に対し、政策・方針決定の過程への女性の登用について働きかける。	地域推進課
58	女性人材育成のための学習機会提供	仕事への意欲を持った女性の人材を育成するため、関係機関等で実施する講座等への参加を促す。	地域推進課

主要課題 2. 地域における身近な男女共同参画の促進

1. 地域における男女共同参画の促進

事業番号	事業名	概要	担当課
59	地域活動などの方針決定の過程への女性の参画促進	地域活動の組織・団体の方針決定の過程への若者や女性の参画を促進するため、啓発を行う。	地域推進課
60	環境美化活動への参加促進	地域活動に参加することで、環境美化とともに市民相互の交流を図る。	生活環境課
61	ハーモニーフライト事業への市民参加の促進	地域で活躍できる女性リーダーの育成を目的に、県主催の「ハーモニーフライト事業」への市民の参加促進を図る。	地域推進課
62	シルバー人材センター活動支援	シルバー人材センターで活動する人の能力の発揮を支援する。	介護福祉課
63	学校行事に参加しやすい環境の整備	学校行事やPTA活動等に参加しやすい環境を整備する。	教育指導課
64	市民活動の支援	ボランティア団体やNPO法人など、コミュニティ活動を進める団体等について、団体等の自主性を尊重しながら支援を行う。	地域推進課
65	市民活動支援体制の整備	地域で活動する団体の情報の提供や様々な活動団体の相互交流の機会を創出することにより、多様な市民活動に対応できる環境を整備する。	地域推進課

2. 防災分野における男女共同参画の促進

事業番号	事業名	概要	担当課
66	防災会議の実施	防災会議への女性委員の登用を継続する。	防災課
67	男女のニーズの違いを踏まえた災害時における支援体制の促進	地域への情報提供・情報収集を迅速かつ的確に行い、女性の意見を取り入れるなど、災害時のニーズに対し円滑な支援体制を促進する。	防災課
68	女性消防団員の加入促進	市内の催し物やイベント等で女性消防団を市民に周知し、加入を促進する。	防災課

主要課題3. 国際社会への参画

1. 情報の収集と提供

事業番号	事業名	概要	担当課
69	海外の男女共同参画に関する情報の収集と提供	男女共同参画に関する国際的動向について、情報を収集し、提供する。	地域推進課

2. 国際理解, 国際交流の推進

事業番号	事業名	概要	担当課
70	国際理解教育の推進	小・中学校に外国語指導助手 (ALT) を配置し、国際理解教育の充実及び児童生徒の英語のコミュニケーション能力の充実を図る。	教育指導課
71	国際交流推進団体等の支援・育成	市民レベルの国際交流を推進するため、また国際交流の担い手として、国際交流を進める各種団体等の支援・育成を図る。	秘書広報課
61再	ハーモニーフライト事業への支援	地域で活躍できる女性リーダーの育成を目的に、県主催の「ハーモニーフライト事業」の参加者に対し支援を図る。	地域推進課

主要課題1. 政策・方針決定の過程への女性の参画 1. 審議会等への女性の登用促進

事業名	54 審議会等への女性委員の登用促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・審議会等への女性登用目標は、第2次男女共同参画計画において平成34年度までに30%達成することを目標としている。 延べ総委員数:414人(うち延べ女性委員数 115人) 女性委員比率:27.8%(前年26.3%)</p> <p>・庁内掲示板にて、審議会等委員を委嘱する際には、出来る限り女性の委員数が3割以上となるよう依頼した。</p> <p>・政策・方針決定の場への女性の参画を促進するため、様々な分野で活躍する女性の情報を登録し、活用する「女性人材登録」制度について、広報つくばみらいにて記事を掲載した。また、各課に対して当制度について周知を行い、活用を依頼した。 女性人材登録者数:14名(令和2年3月末時点)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	<p>審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材登録制度」に登録いただく必要がある。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>様々な分野で活躍する女性に「女性人材登録制度」に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を働きかける。</p>		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	54 審議会等への女性委員の登用促進	担当:総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・庁内で審議会、協議会等の例規を制定する場合で担当課から法制担当に協議があった際は、委員の人選に当たり公募制の導入を担当課に提案し、規定に盛り込むよう促している。</p> <p>・また、法令審査委員会の審査においても、女性の積極的な登用が図られるよう担当課に提案している。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	<p>委員の人選での公募に応募が少ない傾向にあり、周知に力を入れていく必要がある。また、委員候補者の女性人材を発掘し、委員の人選時に積極的に登用していく必要がある。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>引き続き、担当課からの例規制定時や委員の人選相談の際に、女性の積極的な登用が図られるよう提案していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	55 審議会等の会議公開制度	担当:総務課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・審議会等の会議の公開については、会議の審議等の状況を明らかにすることで、市政への参画を促すためにも重要なことである。</p> <p>・審議会等の会議については原則公開とするものの、個人情報等の非公開情報を含む会議については非公開とすることも想定できることから、公開の可否及び公開に関する基本的な事項を定めた指針を平成25年度に制定した。</p> <p>・平成26年度より、審議会の会議を開催するにあたっては、この指針に基づき実施している。</p> <p>平成28年度 公開会議数:75件 平成29年度 公開会議数:88件 平成30年度 公開会議数:93件 令和元年度 公開会議数:77件</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	公開制度が浸透してきている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、会議の審議等の状況を明らかにして、市民の市政への参画推進を図っていく。		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	56 女性人材の情報提供	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・庁内掲示板にて、女性人材登録制度について周知し、活用するよう呼びかけた。</p> <p>・令和元年度末時点では延べ人数で、防災課の「つくばみらい市防災行政無線運用検討委員会」に2名、地域推進課の「つくばみらい市男女共同参画推進委員会」に2名、総務課の「つくばみらい市政倫理審査会委員」に1名が登用されている。</p>		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
現状と課題	登用される人は増えたが、審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材登録制度」に登録いただく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	様々な分野で活躍する女性に「女性人材登録制度」に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を呼びかける。		① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 女性の能力発揮への支援

事業名	57 民間企業等での女性登用の啓発	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・女性登用を促すため、厚生労働省が実施している「女性活躍推進アドバイザー」事業に関するチラシを市内事業所に送付し、活用を促した。</p> <p>・国や他市町村の啓発事例について研究を行った。</p> <p>※女性活躍推進アドバイザー・・・女性活躍を推進するにあたり、課題分析、一般事業主行動計画の策定方法、社内への通知や各都道府県労働局への届け出についてなど説明する。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる</p>
現状と課題	<p>従業員300人以下の中小企業は、一般事業主行動計画の策定・届け出が努力義務となっており、市内事業所に対して女性活躍の重要性を理解してもらい、取り組みを進めていただく必要がある。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>引き続き国や他市町村の事例を研究し、有効な啓発方法を検討していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	58 女性人材育成のための学習機会提供	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・茨城県及び近隣自治体で実施する起業セミナーやスキルアップ講座について、随時市ホームページ等を活用して周知を行うとともに、庁内ラック及び各公共施設にチラシを設置した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>女性の活躍に向けて、セミナー等の学習機会を提供している。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>今後も、随時学習機会を提供し、女性の活躍を図る。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題2. 地域における身近な男女共同参画の促進 1. 地域における男女共同参画の促進

事業名	59 地域活動などの方針決定の過程への女性の参画促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・自治会は地域コミュニティの核となる重要団体であり、人と人とのつながりがある住みよいまちづくりのために、防災をはじめとする地域交流の場づくり、環境美化、防災等、様々な活動に男女が共に協力し合って取り組んでいる。</p> <p>・令和元年度の行政協力員・行政区代表者213名のうち女性は12名である。(平成30年度は213名のうち13名)</p> <p>・行政協力員・行政区代表者会議及び研修会において、第2次男女共同参画計画概要版及び啓発ティッシュを配布した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	それぞれの自治会において、男女が共に協力し合いながら地域活動を行っている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、行政協力員・行政区代表者が集まる機会に、計画の概要版等配布し、男女共同参画社会に関する周知を行っていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	60 環境美化活動への参加促進	担当:生活環境課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・市内一斉清掃について、地域における生活環境の確保と市民の環境美化意識の啓発を目的として年2回実施している。</p> <p>・男女問わずボランティアでの参加を広報つくばみらいや各行政区への回覧で広く呼び掛けている。</p> <p>・市では、清掃作業に必要となるごみ袋を各行政区へ事前配布し、当日は参加者が自主的に作業を行っている。</p> <p>・令和元年度の市内一斉清掃は次のとおりである。 ①令和元年5月26日(日)参加者数:5,595名 男性:2,823人(50.46%) 女性:2,772人(49.54%) ②令和元年11月24日(日)参加者数:2,288名(※雨天のため参加者減) 男性:1,319人(57.65%) 女性:969人(42.35%) 令和元年度合計参加者数:7,883名 男性:4,142人(52.54%) 女性:3,741人(47.46%)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>c 性別による役割分担意識の解消ができる</p>
現状と課題	参加割合は概ね半数ずつであり、男女が共にバランスよく参画した地域活動となった。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き市内一斉清掃をするとともに、様々な媒体を通じて情報提供を行う。今後も参加者を増やすよう、広報つくばみらい及び市ホームページなどで募集をする。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	61 ハーモニーフライト事業への市民参加の促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	・平成30年度より, 茨城県のハーモニーフライト事業が廃止となった。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と 課題			今後の方向
今後の 取り組み	県の事業が廃止となったため, 本事業も廃止とする。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し ④ 廃止 5. その他()

事業名	62 シルバー人材センター活動支援	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	・高齢者に臨時的・短期的な就業機会を提供することにより, 地域社会の向上と活性化に貢献することで, 健康で生きがいのある生活を送ることに貢献するシルバー人材センターに, 市から補助金を交付することによりその運営を支援するとともに, 施設管理や窓口業務, 清掃, 除草などの業務委託を行った。 (市補助金 3,000千円・会員数425人・就労実人数318人・受注金額147,054千円)		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる
現状と 課題	会員の新規加入・退会に関してはここ数年は横ばい傾向にある。(増減率+2.1%)		今後の方向
今後の 取り組み	引き続き補助金を交付し, 運営を支援していく。		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	63 学校行事に参加しやすい環境の整備	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・地域の伝統文化(綱火, 祈禱囃子, お茶づくり等)の継承等, 地域資源を活用した教育活動の充実を図った。</p> <p>・運動会や音楽会, 秋祭りなど地域の方が参加しやすいようチラシ等を配布した。また, 敬老席を設けたり, 登下校の安全を見守ってくださっている地域の方々への感謝する場を行事の中に設定したりと地域の方が学校行事に参加しやすいように工夫した。</p> <p>・奉仕作業や資源回収を親子で参加できるように工夫した。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			c 性別による役割分担意識の解消ができる
現状と課題	道徳・外国語の教科化等, 授業時間数が増えている現状で, 時間確保をするのが大変な状況である。 併せて, 教員の働き方改革もあるので, 教職員への負荷が非常に大きくなっている。		今後の方向
今後の取り組み	新学習指導要領では, 外国語・道徳の教科化, プログラミング教育の推進など, 教職員に大きな負担がかかっているため, 学校行事の精選も視野に入れた地域における男女共同参画の在り方を探る必要がある。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	64 市民活動の支援	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・全庁的に市民協働を推進していけるよう, 職員の市民協働に対する理解を深めるための研修を実施した。 参加者数 係長以上の職員 108名</p> <p>・市民活動団体の活動状況等を把握し, 情報を一元化するため, 62団体を訪問し, ヒアリングを行った。市民活動団体の情報を庁内グループウェアに掲載し, 周知を図った。</p> <p>・「市民活動に興味がある」「市民活動をはじめてみたい」と考えている方を対象に, 市民活動を体験する機会を提供することで, 市民活動に対する理解や認識を深め, 市民活動への参加を後押しする「いきいき市民塾～やってみよう!」を後押しする1日市民活動体験～」を4団体で延べ12名が体験した。</p> <p>・NPO法人化に興味がある団体を対象として, NPO法人について初歩的な内容から具体的な事例までを学ぶ講座を開催し, 5団体9名が参加した。</p>		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
現状と課題	市民活動団体ヒアリングの結果を踏まえて, 市民活動団体の支援を検討していく必要がある。 市民活動団体を対象に, 市民協働に関する啓発を行う必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	市民活動団体等の現状を踏まえて, 他市町村の補助制度等に関して調査・研究を行う。 市民活動団体を対象として, 市民協働に関する講座を実施し, 意識の啓発を行う。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	65 市民活動支援体制の整備	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の活動状況等を把握し、市民活動団体の情報を一元化するため、62団体を訪問し、ヒアリングを行った。 行政と市民活動団体をつなぐコーディネート機能を学ぶため、日本NPOセンターが主催する研修に参加した。 市とNPO法人との交流を図るとともに、NPO法人同士の交流を図るため、NPO法人交流会を開催した。 		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
現状と課題	さらに多くの市民活動団体同士が交流する機会を創出する必要がある。 市民活動団体ヒアリングの結果を踏まえて、市民活動団体が活動する拠点について検討していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	ホームページを整備し、市民活動団体に関する情報を発信する。 市民やさまざまな活動団体同士の交流の輪を広げ、話し合う場として「(仮称)市民協働市民会議」を立ち上げる。 市民活動団体ヒアリングの結果を踏まえて、市民活動団体が活動する拠点について検討を行う。		①. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

2. 防災分野における男女共同参画の促進

事業名	66 防災会議の実施	担当:防災課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、地域防災計画の改訂がなかったため、防災会議を開催しなかった。 		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	現在の委員構成は、各企業・団体等の役職により委員を委嘱しているため、年度によって女性の割合が変更してしまうことがある。		今後の方向
今後の取り組み	防災会議委員の女性割合を増やすため、女性人材登録者等の活用を検討する。		①. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

事業名	67 男女のニーズの違いを踏まえた災害時における支援体制の促進	担当:防災課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に災害用備蓄品を整備するため、備蓄計画(案)を作成した。 ・備蓄品の項目に、女性向け品目を計画に取り入れた。 ・意見書の内容を踏まえて、避難所に女性職員を配置するように考慮した。 		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	備蓄として必要なものであるが、避難想定者数が人口の7.5%を想定しているため備蓄数が多くなる。そのため、財源の確保が課題となる。		今後の方向
今後の取り組み	備蓄計画を策定させる。 近年の状況により、台風が毎年来ることが想定されるため、災害用備蓄品の確保は必要不可欠のため、計画に従って整備する。 女性避難者が避難生活の中で発生した女性特有の悩みなどを相談できるように、避難所に女性職員を配置するように考慮する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	68 女性消防団員の加入促進	担当:防災課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市の新規採用職員に対して研修時に消防団加入依頼を実施し、市ホームページにて加入募集の掲載を行った。また、市防災訓練、小張・高岡の綱火警戒、商工祭、火災予防パレード、消防団初式でのイベント等様々な活動を行い女性消防団を市民に周知した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	2022年度までの女性消防団員目標数を15人としているが、令和元年度は増えなかったため、団員確保が課題である。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、市民の集まるイベント等で火災予防運動や広報啓発活動等を行い、女性消防団の活動を市民へ周知し加入促進を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題3. 国際社会への参画 1. 情報の収集と提供

事業名	69 海外の男女共同参画に関する情報の収集と提供	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・内閣府が発行している情報誌「共同参画」は、海外男女共同参画に関する取り組み等も取り上げているため、庁舎ラックや図書館の啓発コーナーに設置し市民に情報を提供した。</p> <p>・また、市ホームページにも掲載することで情報提供を行った。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる c 性別による役割分担意識の解消ができる d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる その他</p>
現状と課題	<p>情報提供の方法が内閣府の発行する情報誌のみである。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>引き続き情報誌「共同参画」を通じて情報を提供していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 国際理解, 国際交流の推進

事業名	70 国際理解教育の推進	担当:教育指導課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・外国語(英語)の授業や道徳において国際理解教育についての学習を進め、自国文化や異文化理解を深めるための指導の充実を図った。</p> <p>・就学義務のない外国籍をもつ児童生徒を積極的に受け入れを行った。</p> <p>・ALTを増員し、小中学校だけでなく幼稚園にも配置し、幼児期からの国際理解教育の充実を図った。</p> <p>・みらいイングリッシュイベントを2回開催し、異文化交流にも努めた。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>j その他</p>
現状と課題	<p>外国人児童生徒に対する日本語指導に課題が見られる。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>引き続き、国際理解教育の推進については、自国文化や異文化理解を深める指導の充実を図る。 郷土を愛し、伝統と文化を尊重できる取組の推進を図る。 ALTを活用した、異文化理解に努める。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	71 国際交流推進団体等の支援・育成	担当:秘書広報課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・当課が窓口になり、他課と連携して、外国人居住者に日本語を教えるボランティア団体「日本語ひろば」に次の支援を行った。 ・国際交流・協力ネットワーク会議に「日本語ひろば」と共に出席し、他自治体の国際交流団体と意見交換を行った。 ・初級日本語ボランティア養成講座開催にあたり、研修会場の手配や広報つくばみらいで受講生の募集を行った。 ・日本語ひろばの活動に必要な支援をヒアリングし、令和2年度の予算に計上した。(貸出用図書の購入費) 	1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	効果
			その他
			今後の方向
現状と課題	国際交流を行う団体がどのような支援を必要となっているかを把握する必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	国際交流推進団体から適宜ヒアリングを行い、必要な支援を検討していく。 広報つくばみらいでの会員・生徒募集などすぐにできる要望は随時対応し、時間が必要なものについては実現の可能性を継続して検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	61再 ハーモニーフライト事業への市民参加の促進	担当:地域推進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より、茨城県のハーモニーフライト事業が廃止となった。 	1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画に少し及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
			今後の方向
			今後の取り組み
現状と課題			今後の方向
今後の取り組み	県の事業が廃止となったため、本事業も廃止とする。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し ④. 廃止 5. その他()

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

基本目標Ⅳ

誰もが安心して暮らせる社会づくり

基本目標Ⅳ 誰もが安心して暮らせる社会づくり

主要課題 1. 生涯を通じた健康づくりの促進

1. 生涯を通じた女性の健康増進

事業番号	事業名	概要	担当課
72	健康づくりの充実	健康診査，健康教室，健康相談等の実施により，一人ひとりの健康の増進を図る。	健康増進課
73	こころの健康相談	精神科医師，精神保健福祉士によるこころの健康相談及び関係機関との連携を図る。	健康増進課
74	小・中学校における健康教育の推進	小・中学校において健康に関する問題についての正しい知識の普及啓発を図る。	教育指導課
75	若い世代への健康教育の推進	高校卒業期から 20 代の若い世代への健康教育の推進を図る。	健康増進課

2. 妊娠・出産等に関する健康支援

事業番号	事業名	概要	担当課
76	母子保健サービスの充実	母子健康手帳の交付，乳幼児健康診査，新生児訪問などを実施する。	健康増進課

主要課題 2. 困難な立場にある男女への支援

1. ひとり親家庭への自立支援

事業番号	事業名	概要	担当課
77	ひとり親家庭に対する支援の充実	母子・父子自立支援員を配置し，相談体制を充実させ，総合的な支援を行う。	こども課
78	医療福祉費支給制度	18 歳未満の児童を養育するひとり親家庭に対し，医療保険により受給した場合の医療費の助成をする。	国保年金課

2. 若者への自立支援

事業番号	事業名	概要	担当課
79	若者の就労支援	ニートや引きこもりなどの若年者の自立に向けて，関係機関と連携した支援を行う。	産業経済課

3. 高齢・障がい等により生活上の困難に直面する人への支援

事業番号	事業名	概要	担当課
80	地域ケアシステム推進事業	生活するうえで困難が生じた際、保健・福祉・その他必要に合わせた関係者によりチームを編成し、一人ひとりに対応する。	社会福祉課 介護福祉課
81	地域包括支援センター事業	高齢者が安心して暮らしていけるよう、様々な相談を幅広く受け付け、制度の垣根にとらわれない支援を行う。	介護福祉課
82	介護予防事業の推進	高齢者が、健康でいきいきとした生活が送れるよう予防事業への参加を促す。	介護福祉課
83	障がい者に対する各種制度の周知	積極的な広報活動により各種制度の情報を提供するほか、民生委員・児童委員、障がい者相談員等との連携を密にするなど、各種制度の周知に努める。	社会福祉課
84	地域活動支援センター事業	障がい者等が有する能力及び適正に応じ、自立した社会生活を営むことができるよう活動場所の提供、交流の促進等を図る。	社会福祉課
85	民生委員・児童委員の地域活動	民生委員・児童委員が、担当地域内の高齢者や障がい者への見守りを通じて、日常生活への支援を図る。	社会福祉課 介護福祉課

4. 性的マイノリティへの理解促進

事業番号	事業名	概要	担当課
86	性的マイノリティに関する啓発、相談体制の整備	性的マイノリティへの理解を促進するため、情報提供や啓発活動を実施する。	地域推進課 社会福祉課

主要課題1. 生涯を通じた健康づくりの促進 1. 生涯を通じた女性の健康増進

事業名	72 健康づくりの充実	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・20歳以上の女性を対象に、婦人科検診(子宮頸がん検診・乳がん検診)を実施した。 【集団検診】実施回数:年8回, 受診者数:子宮頸がん検診769人, 乳がん検診863人 【医療機関検診】実施期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日, 受診者数:子宮頸がん検診895人, 乳がん検診798人</p> <p>・集団検診において託児付きの検診を実施した。 実施回数:4回, 託児利用受診者:64人, 託児した子どもの数:74人</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	子育て世代が受診しやすい検診体制として、託児付きの検診日を設定し、実施した。これまで検診を受診したことがない、若い世代の方への周知が課題である。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き子育て世代が受診しやすい検診体制を整え、様々な機会を活用して周知するとともに受診者の増加を図る。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	73 こころの健康相談	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・市内在住の精神障がい者やメンタルヘルスの課題などを抱える本人、その家族、関係機関の担当者などを対象に、社会復帰及び自立を支援することを目的とした相談を実施。また、必要に応じて関係機関との連絡調整や、カンファレンスやケア会議を相談者の状況に合わせて25回程度、実施、参加した。</p> <p>・相談内容に関しては、主に社会復帰相談・受診受療相談・障害年金相談・見守り訪問などである。</p> <p>・主に精神保健福祉士1名が相談に対応し、必要に応じて市職員や保健師の同行訪問、関係機関との同行訪問なども実施。</p> <p>電話相談:408件 面接相談48件 訪問相談:140件</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	現状、主に精神保健福祉士が1名で対応している。市民への周知方法が課題となっている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も同様の相談を行っていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	74 小・中学校における健康教育の推進	担当:教育指導課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や発達段階に応じた計画的な保健教育の充実を図った。 ・小学校高学年や中学生を対象に薬物乱用防止教室や小中学校の全学年を対象に命(性)に関する講演会等を開催した。 ・小中学校の全学年を対象に児童生徒の実態に応じたがん教育の講演会を実施した。 ・小中学校の全学年を対象に栄養教諭及び栄養職員の専門性を生かした食に関する指導体制の確立と指導を実施した。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と 課題	自分の健康状態を的確に把握する力の育成と保護者への食に対する理解を図る必要がある。		今後の方向
今後の 取り組み	保健教育を推進するための学校保健委員会の活性化を図る。 年間指導計画に基づく教育活動全体を通して組織的・計画的な指導の充実を図る。 継続して外部講師を招いた健康安全に関する講演会の開催を行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	75 若い世代への健康教育の推進	担当:健康増進課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科検診において、健康教育を行った。 ・乳がん自己検診法 乳がん触診モデルを使って乳がんの基礎知識、早期発見の啓発を行った。 ・成人式で子宮がんについてのパンフレットを全員に配布している。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と 課題	若い世代に対して健康教育を行う機会をつくるのが難しい。		今後の方向
今後の 取り組み	引き続き少ない機会を捉え、若い世代に向けた健康教育を行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 妊娠・出産等に関する健康支援

事業名	76 母子保健サービスの充実	担当:健康増進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・生後4か月頃までの乳児と保護者に対し、助産師・保健師が家庭訪問をし、新生児の発育・栄養・生活環境・疾病予防など育児上必要な事項について助言し、育児不安や様々な悩みを聴くことで、育児不安を軽減し、育児に対して自信が持てるよう「新生児訪問・未熟児訪問・乳児家庭全戸訪問」を実施している。産後うつ、児童虐待等の早期発見に努めている。 訪問率(3月時点) 95.8% (対象実人員:432名)</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる i 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	産婦健診の導入に伴い、産後に支援が必要なケースが明確になった。特定妊婦の増加に伴い、妊娠期から訪問後の経過観察まで必要となる事例が増加している。		今後の方向
今後の取り組み	委託助産師と連携を図り、母子保健事業への参加を促し継続的な支援の実施、各機関との連携を強化する。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題2. 困難な立場にある男女への支援 1. ひとり親家庭への自立支援

事業名	77 ひとり親家庭に対する支援の充実	担当:こども課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・母子家庭・寡婦、父子家庭に対し、生活一般、児童、経済的支援・生活援護等について相談を実施。 1.相談実績(相談件数/相談回数) 母子家庭・寡婦⇒生活一般:31件/86回, 児童:4件/6回, 経済的支援・生活援護:3件/4回 父子家庭⇒生活一般:1件/1回, 児童:0件/0回, 経済的支援・生活援護:1件/2回 2.母子寡婦福祉資金の貸し付け 概要⇒母子家庭及び父子家庭、寡婦の経済的自立や扶養している子の福祉のために、必要な資金を貸し付ける。 実績⇒相談人数2人, 相談件数2回, ※貸し付けに至った者は0人 3.手当等の情報提供</p> <p>・児童扶養手当、母子・父子家庭等福祉金等について、広報つくばみらいや市ホームページで周知</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる</p>
現状と課題	育児に関する悩みに加え、経済的不安を抱えている場合が多いため、総合的な支援が重要である。		今後の方向
今後の取り組み	ひとり親の悩みを総合的に判断し、必要に応じて関係機関の情報提供等を実施し、解決に向けた支援を関係機関とともに実施していく。 手当等の制度が理解しやすいリーフレットの作成をする。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	78 医療福祉費支給制度	担当:国保年金課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・ひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)が必要とする医療を容易に受けられるよう、受給者証を交付し医療費の負担を軽減した。</p> <p>母子家庭 R1 対象者数 693人 助成金額 21,813千円 父子家庭 R1 対象者数 62人 助成金額 1,195千円</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果 h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	既に該当となってる受給者は、所得状況、世帯状況により一年毎に更新し、新規で該当になる方には制度を説明のうえ受給者証を交付している。		今後の方向
今後の取り組み	今後も継続しひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)の一部負担金相当額を助成し、医療費の負担軽減を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 若者への自立支援

事業名	79 若者の就労支援	担当:産業経済課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーション、ポリテクセンターと連携し、就職に関する情報提供や相談に応じた。</p> <p>・ハローワーク求人情報を、毎週月曜日に両庁舎へ掲示およびホームページへ掲載した。</p> <p>・毎月1回、谷和原公民館で15歳から39歳までの方とその親を対象に出張相談を実施しているが、相談件数は0件だった。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	求人は多く掲載されているが、条件がマッチしないためか就労に結びつかない。若者からの就労相談は少ない。		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. 高齢・障がい等により生活上の困難に直面する人への支援

事業名	80 地域ケアシステム推進事業	担当:社会福祉課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・日常生活が困難な支援を要する高齢者、障がい者(児)、難病患者、児童等の一人ひとりのニーズに合った、適切かつ総合的な福祉・保健・医療のサービスの提供を図るため、地域ケアシステム推進事業を、社会福祉協議会に委託し実施した。</p> <p>・ケアチーム会議における会議員は、地域ケアシステムサービス調整会議の設置目的に即した活動を展開できるような検討ケースごとに柔軟に選出し、随時、会議を開催した。</p> <p>在宅ケアチーム会議 29回 相談延件数 321件</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	問題のある個人を地域の人がサポートすることで、問題解決のため効果的に会議を運営できている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、介護福祉課や社会福祉協議会と連携しながら、効率的かつ適切な福祉・保健・医療の各種サービスを提供できるよう、福祉コミュニティづくりを推進する。		<p>1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	80 地域ケアシステム推進事業	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・日常生活が困難な支援を要する高齢者について、個別のケースについて会議を行い、地域での対策を考える地域ケアシステム推進事業を、社会福祉協議会に委託し行った。</p> <p>・ケアチーム会議における会議員は、地域ケアシステムサービス調整会議の設置目的に即した活動を展開できるような検討ケースごとに柔軟に選出し、随時、会議を開催した。</p> <p>在宅ケアチーム会議 28回 相談延件数 311件</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			効果
			<p>b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	ケアチーム会議における会議員を検討ケースごとに柔軟に選出することで、問題解決のため効果的に会議を運営できている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、社会福祉課や社会福祉協議会と連携しながら、効果的かつ適切な福祉・保健・医療の各種サービスを提供できるよう、福祉コミュニティづくりを推進する。		<p>1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	81 地域包括支援センター事業	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・伊奈庁舎の介護福祉課の隣に地域包括支援センターを配置し、地域に居住する高齢者の総合的な相談窓口として介護保険・認知症・在宅医療・権利擁護等、様々な相談に対し、専門職が総合的に支援を実施した。</p> <p>令和元年度実績 総合相談対応延件数 3,360件</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	<p>高齢者の増加に加え、独居高齢者や高齢者世帯も増えており、高齢者に関する相談内容も多岐にわたっている。相談に対応するための職員の資質の向上や人材確保、地域や関係各課との連携が求められる。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>令和2年度より職員を3名増員の予定。より高齢者の相談に迅速に対応していく。</p>		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	82 介護予防事業の推進	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・介護予防普及啓発事業</p> <p>①生き生きクラブ:シルバーリハビリ体操指導士を中心とした、いきいきヘルス体操の実施(延1,635人)</p> <p>②知って納得やって満足お手軽出前講座:介護予防に関する講話や体操を、複数人の団体を対象に市内集会所等で実施(201回 延2,559人)</p> <p>③貯筋教室:健康運動指導士による筋力増加のための運動(125回 延2,643人)</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
現状と課題	<p>ボランティア(シルバーリハビリ体操指導士)が中心となった教室開催により、地域での体操教室の開催が可能となっている。高齢者向けの教室のため、歩いて通える会場づくりが必要となり、会場数の増加(各地域での開催)が求められる。それに合わせてボランティアの養成も必要である。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>現在の教室を継続していくとともに、新規会場を確保していく。また、現在のいきいきヘルス体操だけでなく、多種多様な介護予防事業を展開していくとともに、その事業を担っていくボランティアも養成していく。</p>		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	83 障がい者に対する各種制度の周知	担当:社会福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・障がい別かつ等級別に、どういったサービスが利用できるかが一目でわかる制度一覧表を付した「障がい者支援のしおり」を作成し、新規手帳の交付の際や、相談があった際に、説明とともに配布した。市ホームページにも掲載を行った。</p> <p>・市内の障がい者(児)の当事者または家族により形成している団体の会合や特別支援学校のPTA懇談会に参加し、コミュニケーションを向上させながら制度の周知説明を実施し、理解を得ることができた。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	各種制度の周知について、更なる充実を図っていく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、障がい者支援のしおりを作成するとともに、広報つくばみらい等さまざまな媒体を通じて情報提供を行っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	84 地域活動支援センター事業	担当:社会福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・障がい者が各人の有する能力及び適性に応じ、自立した社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障がい者の地域生活の支援を行った。3事業所(つくばライフサポートセンターみどりの、ひまわり園、ふれんず)ともに委託事業である。</p> <p>つくばライフサポートセンターみどりの 実利用者数 8人 延利用者数 347人 ひまわり園 実利用者数 18人 延利用者数 3,612人 ふれんず 実利用者数 49人 延利用者数 7,022人</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			b 自分の生き方を自分で決めることができる c 性別による役割分担意識の解消ができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	さくら園がひまわり園と統合したことで、旧谷和原地区にセンターがなくなってしまった。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、地域活動支援センターの適正運営に努め、創作的活動・生産活動の機会、社会との交流の場を提供する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	85 民生委員・児童委員の地域活動	担当:社会福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・高齢者への声かけ、見守り、訪問、相談等の実施により高齢者に対する支援体制の充実を図った。</p> <p>・児童に関しては、主任児童委員を中心に学校訪問などを実施することで地域の児童の実情を把握し、安心安全な地域づくりに貢献した。 高齢者等に関する相談 1,231件 子どもに関する相談 100件</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果 <p>a 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる e 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる g 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる h 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	民生委員児童委員のなり手不足、委員と対象者のかかわり方(線引き)が課題である。		今後の方向
今後の取り組み	毎月実施の定例会等で研修を行い、委員の資質の向上に努め、地域福祉の推進を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	85 民生委員・児童委員の地域活動	担当:介護福祉課	達成度
令和元年度 実施した 取り組み	<p>・民生委員・児童委員が、担当地域内の高齢者の実態を把握し、高齢者の即した生活援助事業を紹介するとともに、定期的に訪問するなどして見守りを行った。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 <p>b 自分の生き方を自分で決めることができる f 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	声かけや訪問などを嫌う方に対しての聞き取りが難しい。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き今年度同様の取組を継続していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

4. 性的マイノリティへの理解促進

事業名	86 性的マイノリティに関する啓発, 相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・県パートナーシップ制度について職員に周知し, 理解・促進を図った。</p> <p>・平成30年度にLGBT等に関する記事をホームページに掲載したところ, 有識者から内容について指摘があったため, ホームページ記事の掲載内容や表記などの校正を有識者である専門家に依頼した。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた</p> <p>② ほぼ計画通りに達成できた</p> <p>3 計画にほぼ及ばない</p> <p>4 計画にまったく及ばない</p> <p>5 実施しなかった</p>
			効果
			その他
現状と課題	<p>社会では, 未だに性的志向に関して根強い偏見や差別があり, 当事者は戸惑いや不安など, 生きづらさを感じている。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>誰もが, 性別に関係なく, 個性と能力を尊重して活躍できる社会に向けて, 理解促進に向けた啓発活動を進めていく必要がある。</p> <p>市職員が, 状況に応じて適切な対応を行うことができるよう, 定期的に「LGBTなどの性的少数者に配慮した行政窓口での対応手引き」の確認を促す。</p> <p>市職員に対してLGBTに関する研修を行う。</p> <p>校正が終わった市ホームページを掲載する。</p>		<p>1. 充実させる</p> <p>②. 継続</p> <p>3. 見直し</p> <p>4. 廃止</p> <p>5. その他()</p>
事業名	86 性的マイノリティに関する啓発, 相談体制の整備	担当:社会福祉課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・人権が尊重される社会づくりは必要不可欠であることから, 人権擁護委員による相談事業である「特設人権相談所」を毎月1回実施している。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた</p> <p>② ほぼ計画通りに達成できた</p> <p>3 計画にほぼ及ばない</p> <p>4 計画にまったく及ばない</p> <p>5 実施しなかった</p>
			効果
			その他
現状と課題	<p>これまでの相談において, 性的マイノリティに関する実績はない。</p> <p>「特設人権相談所」も人権全体に対する相談所のため, 性的マイノリティ専門での相談は行っていない。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>引き続き, 「特設人権相談所」を広報つくばみらいに毎月掲載して, 情報提供を行う。</p>		<p>1. 充実させる</p> <p>②. 継続</p> <p>3. 見直し</p> <p>4. 廃止</p> <p>5. その他()</p>

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

庁内における男女共同参画の推進

庁内における男女共同参画の推進

(1) 市役所でのハラスメント対策

事業番号	事業名	概要	担当課
①	ハラスメントに関する市職員研修の実施	市職員に対し、ハラスメント防止のための研修を実施する。	総務課
②	市職員向けハラスメント相談窓口の周知	市職員に対し、ハラスメントの相談窓口の周知を行う。	総務課

(2) ワーク・ライフ・バランスの推進

事業番号	事業名	概要	担当課
③	市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	特定事業主行動計画に基づき、男性の育児休業取得促進やノー残業デーの徹底を図り、ワーク・ライフ・バランスを推進する。	総務課

(3) 女性の職域拡大の推進

事業番号	事業名	概要	担当課
④	女性職員の職域の拡大	職域にこだわることなく、幅広い分野に女性職員を配置するとともに、その能力に応じて管理職への登用を図る。	総務課

以下のとおり目標値を設定します。

主要課題	項目	現状値	目標値 (2022年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進	市の男性職員の育児休業取得率	0% (2016年 総務課調べ)	5%
女性職員の職域の拡大	市の管理職のうち、女性職員の割合 (課長以上)	13.3% (2017年 総務課調べ)	20%

(1)市役所でのハラスメント対策

事業名	① ハラスメントに関する市職員研修の実施	担当:総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・ハラスメント防止に関する研修については、定期的に係長級以上の管理職員及び希望者を対象として実施している。今後もセクハラやパワハラなどのハラスメント防止のための研修を定期的に実施しハラスメント防止を図る。</p> <p>・開催実績 令和元年度,平成29年度,平成26年度 令和元年度は53名の職員が受講した。</p>		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
現状と課題	令和元年度に研修を実施したが、ハラスメントに関する相談が何件かあったため、引き続き研修を行う必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	定期的なハラスメント研修を開催し、ハラスメント防止に努める。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	② 市職員向けハラスメント相談窓口の周知	担当:総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	<p>・相談窓口に関する職員周知を5月,11月,12月の3回行い、職員がいつでも相談できるような体制づくりを行った。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			d 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
現状と課題	令和元年度における相談件数は数件あった。更に相談しやすい環境を整えていく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	庁内掲示板などを活用して、ハラスメントに関する相談窓口の周知活動を行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

(2)ワーク・ライフ・バランスの推進

事業名	③ 市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	担当:総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	・家庭生活と仕事の両立を図れるよう、平成30年度から時差出勤制度を実施した。また、長時間労働を是正するための取組として、水・金曜日をノー残業デーとし、当日に庁内掲示板でアナウンスすることにより定時退庁を促し、メリハリのある働き方の推進を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	ノー残業デーにおける時間外勤務を減少させるための取組が必要である。また、利用しやすい時差出勤制度の構築が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	更なるワークライフバランスの推進のため、時差出勤制度の利用事由拡大を検討する。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

(3)女性の職域拡大の推進

事業名	④ 女性職員の職域の拡大	担当:総務課	達成度
令和元年度実施した取り組み	・女性職員のキャリア形成意識については、茨城県自治研修所主催の研修に参加し実施している。 ・性別を問わない能力や実績に応じた積極的な人材登用を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	研修等により女性のキャリア形成意識を高めている。男女問わず自己の能力を発揮できる職場づくりが必要である。		今後の方向
今後の取り組み	性別により固定化された職域を見直し、女性職員が個性や能力を発揮できる職場づくりに努める。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

項目	市の男性職員の育児休業取得率	担当:総務課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・誰もが確認できるよう、庁内ネットワークに「出産・育児に関する手続きガイド」を掲示し、男性職員の育児休暇取得に向けた取り組みを行った。		10%
			前年数値
			7%
現状と課題	配偶者出産時の特別休暇は100%取得しているものの、男性職員の育児休暇についての認知度は低く取得率が低いため、更なるPRが必要である。		現状値
今後の取り組み	定期的に制度の周知を行い、男性の育児休暇取得の増加を図る。		0%

項目	市の管理職のうち、女性職員の割合(課長以上)	担当:総務課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・県自治研修所で開催されている女性職員のための研修に派遣することにより、女性職員のキャリア意識の形成を図った		20%
			前年数値
			13.3%
現状と課題	50代から60代の年齢層の女性職員(事務職)は7人、うち課長職は3人、課長補佐職は3人となっている。50代から60代の女性職員数が少ないため、女性職員の課長職割合が少なくなっている。		現状値
今後の取り組み	職員を対象とした、キャリア意識を形成するための研修会に派遣する。		12.9%

市男女共同参画計画に基づく令和元年度事業の実施状況報告シート

目標値の設定

目標値の設定

本計画推進にあたって、次のような目標値を設定します。

基本目標	主要課題	No	項目	現状値	目標値 (2022年度)
I 男女共同参画社会 への意識づくり ～人が変わる～	1. 男女平等意識 の推進	1	家庭教育学級における啓発活動	0学級 (2017年市民 サポート課調べ)	13学級
		2	男性は仕事、女性は家庭という考 えに同感しない市民の割合	56.9% (2017年 市民意識調査)	60%
		3	社会全体中で、男女の地位が平等 になっていると思う市民の割合	13.5% (2017年 市民意識調査)	17%
	3. あらゆる暴力の 根絶	4	DVに関する啓発活動の実施回数	1回 (2017年市民 サポート課調べ)	2回
II 多様な働き方のた めの環境整備 ～組織が変わる～	1. 家庭と仕事の 両立支援	5	ワーク・ライフ・バランスに取り組ん でいる事業所	49.9% (2017年 市内事業所調査)	55%
	2. 雇用や職業の 場における男 女共同参画の 推進	6	再就職支援セミナーの回数	2回 (2017年市民 サポート課調べ)	3回
		7	新規就農女性者数	0人 (2016年 産業経済課調べ)	1人
		8	家族経営協定実施数	9経営体 (2016年 産業経済課調べ)	10経営体
III 多様な分野にお ける男女共同参 画～社会が変わる～	1. 政策・方針決 定の過程への 女性の参画	9	女性人材登録者数	7人 (2017年市民 サポート課調べ)	15人
		10	審議会等における女性委員の割合	22.8% (2017年市民 サポート課調べ)	30%
	2. 地域における 身近な男女共 同参画の促進	11	女性消防団員数	13人 (2017年 安心安全課調べ)	15人
		12	自治会などの地域活動に夫婦分担 で参加	26.0% (2017年 市民意識調査)	41%
IV 誰もが安心して暮 らせる社会づくり	2. 困難な立場に ある男女の支援	13	介護予防事業への参加者数	5,728人 (2017年 介護福祉課調べ)	5,900人

数値目標

項目	1 家庭教育学級における啓発活動	担当: 地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・家庭教育学級担当者説明会において、男女共同参画について説明を行うとともに、家庭教育学級構成員に対して、第2次男女共同参画計画概要版を配布するよう依頼した。		13学級
			前年数値
			13学級
現状と課題	家庭教育学級の担当者が集まる機会を活用し、男女共同参画に関する周知を図っている。		現状値
今後の取り組み	家庭教育学級構成員は、毎年変わるため、来年度以降も継続して同様の啓発活動を行う。		19学級

項目	2 男性は仕事、女性は家庭という考えに同感しない市民の割合	担当: 地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	今年度は市民意識調査を実施しなかった。		60%
			前年数値
			-
現状と課題	平成29年度に行った市民意識調査実施時で56.9%あり、県の52.8%を上回っている。		現状値
今後の取り組み	次回、計画見直しを実施する際にアンケートを行う。		-

項目	3 社会全体中で、男女の地位が平等になっていると思う市民の割合	担当: 地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	今年度は市民意識調査を実施しなかった。		17%
			前年数値
			-
現状と課題	平成29年度に行った市民意識調査実施時で13.5%あり、県の12.9%を上回っている。		現状値
今後の取り組み	次回、計画見直しを実施する際にアンケートを行う。		-

項目	4 DVに関する啓発活動の実施回数	担当: 地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・広報つくばみらい11月号にて、DV防止に関する各種相談窓口を掲載し、被害にあった場合には、相談するよう促した。 ・令和元年度から女性が抱える問題を解決できるように女性相談を開始した。 (原則毎月第4木曜日)		2回
			前年数値
			1回
現状と課題	被害者がDVを犯罪と認識せず相談に至らないケースや、なかなか相談に踏み出せないケースも多く、潜在化してしまいがちである。		現状値
今後の取り組み	定期的に広報つくばみらいや市ホームページにおいて、DVの概要について周知を行うとともに、相談を促す。		2回

項目	5 ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所	担当:地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所150ヶ所を対象として調査を実施したところ、57事業所より回答があり、そのうち38事業所において、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいると回答があった。 ・取り組みとして最も多かったのは、「長時間労働の削減」であり、「有給休暇の取得促進」、「完全週休2日制の導入」、「仕事と育児の両立」が後に続く。 		55%
			前年数値
			65.6%
現状と課題	ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みを行っていない事業所が回答企業の中で3割超あった。		現状値
今後の取り組み	事業所における取組に関係するような啓発物を積極的に郵送する。		66.7%

項目	6 再就職支援セミナーの回数	担当:地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者社会復帰支援事業を実施した。 事業概要:育児や移住などの理由で現場を離れたことにより、再就職に不安を持つ有資格者の方に、幼児と触れ合う機会を提供することで、再度現場で活躍する意欲を向上させるとともに、子どもたちと触れ合う感覚を取り戻すきっかけづくりとする。(令和元年度は参加者なし) 		3回
			前年数値
			3回
現状と課題	問い合わせはあったが、参加要件が合わず、参加には至らない人がいる。		現状値
今後の取り組み	有資格者が参加しやすいよう、参加しやすい形式を検討していくとともに、積極的に周知していく。		0回

項目	7 新規就農女性者数	担当:産業経済課	目標値
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・就農を志す女性に対し、つくば地域農業改良普及センターと連携し就農相談等の支援を行った。 		1人
			前年数値
			0人
現状と課題	「農業＝男性の職業」というイメージが根強く、女性の就農希望が少ない。		現状値
今後の取り組み	随時就農相談の受付を行う。		1人

項目	8 家族経営協定実施数	担当:産業経済課	目標値
令和元年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者については、農業経営改善計画認定申請のあった25経営体に対し、制度について説明して締結を促した。 家族経営協定締結数・・・10経営体 		10経営体
			前年数値
			10経営体
現状と課題	家族の中で1名のみが就農するケースが大半であり、協定締結に至らない。		現状値
今後の取り組み	引き続き農業者に対し周知を行っていく。		10経営体

項目	9 女性人材登録者数	担当:地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・広報つくばみらいおよび市ホームページにおいて、登録してもらえるよう周知を行った。		15人
			前年数値
			10人
現状と課題	審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録していただく必要がある。		現状値
今後の取り組み	様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、適任者の発掘を検討する。		14人

項目	10 審議会等における女性委員の割合	担当:地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・庁内掲示板にて、審議会等委員を委嘱する際には、出来る限り女性の委員数が3割以上となるよう依頼した。 ・審議会等委員を委嘱する機会には、女性人材登録制度を活用するよう働きかけた。		30%
			前年数値
			26.3%
現状と課題	審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録していただく必要がある。		現状値
今後の取り組み	様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を働きかける。		27.8%

項目	11 女性消防団員数	担当:防災課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・市の新規採用職員に対して研修時に消防団加入依頼を実施し、市ホームページにて加入募集の掲載を行った。また、市防災訓練、小張・高岡の綱火警戒、商工祭、火災予防パレード、消防出初式等様々な活動を行い女性消防団を市民に周知した。		15人
			前年数値
			12人
現状と課題	2022年度までの女性消防団員目標数を15人としているが、令和元年度は増えなかったため、団員確保が課題である。		現状値
今後の取り組み	引き続き、市民の集まるイベント等で火災予防運動や広報啓発活動等を行い、女性消防団の活動を市民へ周知し加入促進を図る。		12人

項目	12 自治会などの地域活動に夫婦分担で参加	担当:地域推進課	目標値
令和元年度実施した取り組み	・今年度は市民意識調査を実施しなかった。		41%
			前年数値
			-
現状と課題	平成29年度の市民意識調査実施時は26.0%であった。		現状値
今後の取り組み	次回、計画見直しを実施する際にアンケートを行う。		-

項目	13 介護予防事業への参加者数	担当:介護福祉課	目標値
令和元年度 実施した 取り組み	・介護予防普及啓発事業 ①生き活きクラブ:シルバーリハビリ体操指導士を中心とした、いきいきヘルス体操の実施(延1,635人) ②知って納得やって満足お手軽出前講座:介護予防に関する講話や体操を、複数人の団体を対象に市内集会所等で実施(201回 延2,559人) ③貯筋教室:健康運動指導士による筋力増加のための運動(125回 延2,643人)		5,900人
			前年数値
			6,537人
現状と課題	ボランティア(シルバーリハビリ体操指導士)が中心となった教室開催により、地域での体操教室の開催が可能となっている。高齢者向けの教室のため、歩いて通える会場づくりが必要となり、会場数の増加(各地域での開催)が求められる。それに合わせてボランティアの養成も必要である。		現状値
今後の 取り組み	現在の教室を継続していくとともに、新規会場を確保していく。また、現在のいきいきヘルス体操だけでなく、多種多様な介護予防事業を展開していくとともに、その事業を担っていくボランティアも養成していく。		6,837人

効果	効果一覧	
a	男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる	37
b	自分の生き方を自分で決めることができる	34
c	性別による役割分担意識の解消ができる	34
d	事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる	21
e	地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる	19
f	男女がそれぞれ経済的，社会的に自立できる社会ができる	38
g	性別に関係なく，個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる	20
h	子どもを安心して生み育てる環境を整え，心身だけでなく経済的，社会的にも安心して生活することができる	33
i	健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで，健やかで安心した生活を送ることができる	12
j	その他	5
合計		253